



福島県立美術館
年報
平成27年度
2015



福島県立美術館年報
平成 27 年度 (2015)

目 次

設置の目的と立地	2
沿革	3
平成 27 年度主要記事	4
第 1 節 委員会等	4
美術館運営協議会	
他館等との連携	
第 2 節 収集・保存	5
収集作品点数	
収集評価委員会	
平成 27 年度収集作品	
図書資料の収集	
保存管理	
第 3 節 展示事業	26
常設展	
企画展	
観覧者数一覧	
第 4 節 調査研究事業	40
第 5 節 普及事業	40
館内解説	
実技教室	
美術館・学校教育連携事業	
友の会、協力会との連携	
その他の事業	
第 6 節 工事関係	45
施設・設備の整備	
関係法規	46
予算	52
施設・設備	53
施設配置図	54
組織図・職員名簿	55
利用案内	56

◆設置の目的と立地



福島県立美術館は、すぐれた美術作品にふれることで人々の感受性が高まり、情操が養われ、憩いと喜びのなかに創造の手がかりが得られる場として、1984（昭和59）年7月に、隣接する福島県立図書館とともに設けられました。

この目的のために、収蔵作品の充実をはかり、貴重な文化財である美術品の保存につとめ、継続的な調査研究にもとづく展示・普及事業を積極的に展開するとともに、美術に関するさまざまな情報を提供します。

美術館は、福島市のシンボルであり、憩いの場として親しまれている信夫山のふもとにあります。福島駅からも近く、交通の便もよい場所にありながら、野鳥の声もきこえる静かで落ち着いた環境にあります。60,000㎡もの広大な敷地には、樹木や花々、広い芝生や日本庭園があり、散策や休息の場として親しまれています。

美術館と図書館は、多面的な機能と豊富な情報にもとづく、さまざまなサービスを提供することによって、見る・聴く・語る・作る・考える空間として活用していただくことをめざしています。

◆沿革

1977年	5月	文化を考える県民会議を設置	10月	18日以降臨時休館となる（-2000年7月
	6-8月	文化に関する県民意識調査を実施		19日）空調機械改修工事（第一期）着工
1978年	1月	文化を考える県民会議より「県の文化振興について」を県知事に報告		「移動美術館」開始（第1回は喜多方市美術館）
	7月	文化振興会議を設置	2000年	3月 『福島県立美術館所蔵作品選 ポケット・ミュージアム』発行
1979年	2月	文化振興会議より「文化振興策の具体策について」を県知事に報告		4月 第四代館長に酒井哲朗が就任（-2012年3月）
	3月	文化施設等整備基金条例制定		7月 空調機械工事（第一期）竣工、再開館（20日）
	4月	県教育庁文化課内に文化施設班を置く	2001年	11月 19日以降臨時休館となる（-2002年4月
	6月	福島県立美術館基本構想検討委員会を設置（委員10人を委嘱）		26日）空調機械工事（第二期）等着工
	12月	美術品等取得基金条例制定	2002年	3月 空調機械工事（第二期）、展示室改修工事竣工（県立図書館空調工事も竣工）
1980年	1月	「福島県立美術館建設基本構想について」を同委員会より知事に報告		4月 再開館（27日） レストラン「カフェ・ドゥ・ミュゼ ムスターシュ」開店（-2008年3月
	2月	美術館・図書館の建設地を福島市に決定 版画家斎藤清氏より県に自作227点が寄贈される		23日）
	4月	福島県立美術館収集評価委員会を設置（委員7人を委嘱） 美術館・図書館の建設地を福島大学経済学部跡地に決定	2003年	4月 「美術館友の会（仮称）設立に向けて県民の意見を聴く会」を設置 高校生以下の常設展観覧料金を無料化 「福島県立美術館友の会設立発起人会」を開催、友の会発足
	5月	第1回収集評価委員会開催、ワイエス「松ぼっくり男爵」他の購入を決定	2004年	6月 「特定非営利活動法人 福島県立美術館協力会」発足
	12月	美術館基本設計を委託（大高建築設計事務所）		7月 「アートオブスター・ウォーズ展」開催、77,601人の観覧者を記録する
1981年	7月	美術館実施設計を委託（大高建築設計事務所）		10月 開館20周年記念展「田園の夢」開催
1982年	7月	美術館設計工事着工	2005年	3月 『収蔵作品図録1990-2005』発行
1984年	3月	美術館本体工事完了 福島県立美術館条例を議決	2006年	5月 入館者通算200万人を記録する
	4月	福島県立美術館設置		8月 初の県立美術館・図書館連携事業として「アートな おはなしかい」を開催
	6月	福島県立美術館博物館所管の県有美術品365点を移管	2008年	10月 レストラン「ミュゼ・ドゥ・カナール」新装開店
	7月	開館（22日）初代館長に原田實が就任（-1989年3月） 開館記念展第1部「戦後の名作に見る人間像」展開催 『所蔵品図録抄』を発行	2009年	7月 開館25周年記念展「福島県立美術館のすべて」「文化の力」「アルバム」展開催
	10月	第1回運営協議会開催	2011年	3月 12日以降東日本大震災の被害により臨時休館となる（-4月25日）
1986年	3月	『研究紀要第1号』発行		4月 再開館（26日）
1989年	4月	第二代館長に佐藤昌志が就任（-1990年3月）		5月 入館者通算300万人を記録
1990年	3月	『収蔵作品図録1984-1989』発行	2012年	2月 震災復旧工事のため1日以降臨時休館となる（-4月6日）
	4月	館長事務代行を教育長兼務とする（-1992年3月）		4月 第五代館長に早川博明が就任
1992年	4月	第三代館長に長谷部満彦が就任（-2000年3月）	2013年	7月 再開館（7日） 「若冲が来てくれました」展開催、155,592人の観覧者を記録する
1994年	7月	開館10周年記念展「ルネサンスの絵画」「日本画の風景」開催	2014年	7月 開館30周年記念展「コレクション・クッキング」展開催
1995年	6月	入館者通算100万人を記録する	2015年	4月 6日以降臨時休館となる（-2016年4月
1998年	4月	「ピカソ回顧展」開催、67,125人の観覧者を記録する		1日）空調設備等改修工事着工
1999年	3月	屋根改修工事着工		
	8月	屋根改修工事のため23日以降常設展を休止（-2000年7月19日）		
	9月	通算100本目の企画展「生誕100年関根正二展」を開催		

◆平成 27 年度主要記事 (2015.4 - 2016.3)

第 1 節 委員会等

平成 27 (2015) 年

- 4月 1日 佐藤泰彦副館長着任
4月 6日 空調設備等改修工事による長期休館 (-平成 28年 4月 1日)
5月 2日 福島県立博物館で「ふるさと会津の人と四季」展開幕 (-6月 21日)
5月 26日 【協力会】理事会、総会
5月 28日 第 64 回全国美術館会議総会において県内 4 館合同で幹事館を務める (郡山市、-29日)
5月 31日 【友の会】通常総会
8月 7日 福島県文化センターで「ふくしまからの発信 世界の名作版画展・第 1 部」開幕 (-20日)
9月 9日 福島県文化センターで「ふくしまからの発信 世界の名作版画展・第 2 部」開幕 (-21日)
10月 16日 須賀川市立博物館で「美術史を彩る名画の旅」展開幕 (-11月 23日)
11月 19日 美術館・図書館合同消防訓練

平成 28 (2016) 年

- 1月 19日 二本松市大山忠作美術館・市民ギャラリーで「ふるさとが誇る美術家たち」展開幕 (-2月 21日)
2月 10日 平成 27 年度収集評価委員会
2月 25日 平成 27 年度運営協議会
3月 31日 八巻功寿総務課長、久慈伸一専門学芸員、佐藤俊一専門員退職

1 美術館運営協議会

(1) 委員

- 山口 功 福島県中学校教育研究会美術専門部 (平成 25.1.1 ~)
番匠あつみ 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会会員 (平成 27.1.1 ~)
遠藤俊博 公益財団法人福島県文化振興財団理事長 (平成 25.1.1 ~)
坂本節子 福島県家庭教育インストラクターいわきの会事務局長 (平成 25.1.1 ~)
酒井昌之 福島県美術協会副会長 (平成 19.1.1 ~)
本保 晃 日本放送協会福島放送局長 (平成 27.10.17 ~)
星真智子 西会津国際芸術村事務局長 (平成 27.1.1 ~)
清水真砂 世田谷美術館教育普及課長兼分館長 (平成 27.1.1 ~)
齋藤美保子 郡山女子大学短期大学部教授 (平成 27.1.1 ~)
貝沼幹夫 福島県立美術館友の会副会長 (平成 25.1.1 ~)

(2) 協議会の開催

期日：平成 28 年 2 月 25 日(木)

内容：・運営協議会会長及び副会長の選出

- ・平成 27 年度事業実績の概要
- ・平成 28 年度事業計画案の概要
- ・県立美術館の運営等

2 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を図り運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

〈加盟団体〉

- ・全国美術館会議 (理事)
- ・日本博物館協会 (会員)
- ・日本博物館協会東北支部 (監事)
- ・東北地区博物館協会 (監事)
- ・福島県博物館連絡協議会 (理事)

第2節 収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション(収蔵作品)の収集活動を継続的に行っている。

平成27年度は219点の作品、および美術資料15件を寄贈により収蔵した。

1 収蔵作品点数(平成28年3月31日現在)

種別	購入点数	受贈点数	移管点数	合計
海外作品	421	29	0	450
日本画	75	128	116	319
洋画	99	608	96	803
素描・下絵	15	165	17	197
版画	376	727	40	1,143
写真	0	390	20	410
立体	14	67	48	129
工芸	76	45	33	154
書	0	1	36	37
美術資料(件数)	1	43	4	44
合計	1,076点	2,203点	406点	3,686点

2 収集評価委員会

(1) 委員

原田 光	岩手県立美術館長(平成23.12.1～)
村田真宏	豊田市美術館長(平成23.12.1～)
荒屋鋪透	元ポーラ美術館長(平成23.12.1～)
三上満良	宮城県美術館副館長(平成23.12.1～)
佐々木吉晴	いわき市立美術館長(平成23.12.1～)

(2) 委員会の開催

期日：平成28年2月10日(火)

内容：・平成26年度収集作品の報告

・平成27年度収集候補作品について

3 平成27年度収蔵作品

(1) 美術作品及び美術資料の収集

海外作品	ヤコブ・アガム	1点
	アレキサンダー・コルダー	1点
	ジャン・カルトン	1点
	ロベール・クーチュリエ	1点
	ヴェナンツォ・クロチェッティ	1点
	シャルル・デスピオ	4点
	ペリクレ・ファッツィーニ	1点
	エミリオ・グレコ	2点
	マリノ・マリーニ	1点
	ヘンリー・ムーア	1点
	オーギュスト・ロダン	3点
国内：日本画	朝倉 摂	8点

国内：洋画	鎌田正蔵	77点
	川島 清	1点
	佐藤忠良	7点
	原 裕治	1点
	舟越道子	1点
	渡部 武	5点
国内：素描・下絵	朝倉 摂	24点
	鎌田正蔵	13点
	笹戸千津子	4点
	佐藤忠良	10点
	舟越保武	1点
国内：版画	草間彌生	1点
	小磯良平	20点
	佐藤忠良	10点
	藤田嗣治	1点
	吉川静子	1点
国内：立体	吾妻兼治郎	2点
	岩野勇三	1点
	掛井五郎	1点
	木内 克	2点
	桜井祐一	1点
	笹戸千津子	2点
	佐藤忠良	1点
	澄川喜一	1点
	高田博厚	1点
	流 政之	1点
	西山勇三	1点
	舟越保武	2点
国内：工芸	木村芳雨	1点
国内：資料	石原コレクション関係資料	4件
	大嶋陽三関係資料	6件
	鎌田正蔵関係資料	2件
	川妻さち子関係資料	3件
	計	219点 美術資料15件

(2) 新収蔵作品一覧

1. ヤコブ・アガム(1928-)

《作品》制作年不詳 紙・リトグラフ

58.5 × 56.5cm 石原隆江氏寄贈



2. アレキサンダー・コルダー(1898-1976)

《無題》1969年 紙・グワッシュ

56 × 79cm 石原隆江氏寄贈



3. ジャン・カルトン (1912-1988)
《乳房を吸う幼子》制作年不詳 ブロンズ
18.4 × 16 × 27cm 石原隆江氏寄贈



4. ロベール・クーチュリエ (1905-2008)
《踊るファウヌス》制作年不詳 ブロンズ
31.5 × 21.5 × 16.5cm 石原隆江氏寄贈



5. ヴェナンツォ・クロチェッティ (1913-2003)
《静物 (花束)》1979年 紙・水彩
33.5 × 25cm 石原隆江氏寄贈



6. シャルル・デスピオ (1874-1946)
《裸婦》制作年不詳 紙・褐色鉛筆
23.5 × 35.5cm 石原隆江氏寄贈



7. シャルル・デスピオ (1874-1946)
《裸婦椅像》制作年不詳 紙・コンテ
36 × 22.4cm 石原隆江氏寄贈



8. シャルル・デスピオ (1874-1946)
《寄りかかる裸婦》制作年不詳 紙・コンテ
36.3 × 24cm 石原隆江氏寄贈



9. シャルル・デスピオ (1874-1946)
《裸婦座像》制作年不詳 紙・コンテ
35.3 × 24.7cm 石原隆江氏寄贈



10. ペリクレ・ファッツィーニ (1913-1987)
《[表題不詳]》制作年不詳 紙・リトグラフ
68 × 48cm 石原隆江氏寄贈



11. エミリオ・グレコ (1913-1995)
《ELLISE No. 3》1971年 紙・エッチング
60 × 41.5cm 石原隆江氏寄贈



12. エミリオ・グレコ (1913-1995)
《青春 (レリーフ)》1986年 ブロンズ
14.3 × 13.0cm 石原隆江氏寄贈



13. マリノ・マリーニ (1901-1980)
《馬と騎手》1972年 紙・リトグラフ
44.5 × 37.5cm 石原隆江氏寄贈



14. ヘンリー・ムーア (1898-1986)
《彫刻のアイデア I》1980年 紙・エッチング、アクアチント
27.5 × 35.5cm 石原隆江氏寄贈



15. オーギュスト・ロダン (1840-1917)
 《柱上のフナイユ夫人の胸像》 1898-1900年 (1996 鑄造)
 ブロンズ 162.5 × 51 × 36.5cm 石原隆江氏寄贈



16. オーギュスト・ロダン (1840-1917)
 《髪をすく女》 1900年以前 (2002 鑄造)
 ブロンズ 24 × 14.5 × 13.7cm 石原隆江氏寄贈



17. オーギュスト・ロダン (1840-1917)
 《[影]の頭部》 制作年不詳 (1995 鑄造) ブロンズ
 66.3 × 38 × 35cm 石原隆江氏寄贈



18. 川島 清 (1951-)
 《[表題不詳]》 1970年代後半 紙・アクリル、インク
 53.5 × 36cm 石原隆江氏寄贈



19. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《花》 1973年 紙・水彩、パステル、鉛筆
 22 × 31cm 石原隆江氏寄贈



20. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《プラムと器》 1975.7.11 紙・水彩
 26.5 × 22.5cm 石原隆江氏寄贈



21. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《南天》 1991年 紙・水彩
 21 × 18cm 石原隆江氏寄贈



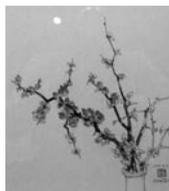
22. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《書簡》 1993-2003年 紙・水彩、パステル、鉛筆
 ハガキ 石原隆江氏寄贈



23. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《柿とみかん》 1994年 紙・水彩、パステル
 18 × 21cm 石原隆江氏寄贈



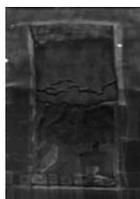
24. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《木瓜》 1994.3 紙・水彩、パステル、鉛筆
 27 × 24cm 石原隆江氏寄贈



25. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《みかん》 1998年 紙・水彩
 16.7 × 20.5cm 石原隆江氏寄贈



26. 原 裕治 (1948-2007)
 《No. 5》 1980年 紙・砂、アクリル
 74.5 × 55cm 石原隆江氏寄贈



27. 舟越道子 (1917-2010)
《土の匂い》 1987 頃 紙・水彩
16.4 × 33.0cm 石原隆江氏寄贈



28. 草間彌生 (1929-)
《果物》 1997 年 紙・シルクスクリーン
24 × 33cm 石原隆江氏寄贈



29. 小磯良平 (1903-1988)
《バレリーナ》 1965 年 紙・エッチング
27.5 × 15.5cm 石原隆江氏寄贈



30. 小磯良平 (1903-1988)
《バレリーナ》 1966 頃 紙・メゾチント
26 × 29.5cm 石原隆江氏寄贈



31. 小磯良平 (1903-1988)
《白川女 (b)》 1968-69 年 紙・エッチング
32 × 32cm 石原隆江氏寄贈



32. 小磯良平 (1903-1988)
《静物》 1968-69 年 紙・メゾチント
30 × 24cm 石原隆江氏寄贈



33. 小磯良平 (1903-1988)
《裸婦》 1976 年 紙・リトグラフ
66.5 × 51.5cm 石原隆江氏寄贈



34. 小磯良平 (1903-1988)
《舞妓 II -3》 1976 年 紙・リトグラフ
54 × 36.5cm 石原隆江氏寄贈



35. 小磯良平 (1903-1988)
《レースの帽子の人形》 1977 年 紙・リトグラフ
52 × 36cm 石原隆江氏寄贈



36. 小磯良平 (1903-1988)
《帽子を被った人形》 1977 年 紙・リトグラフ
52 × 36cm 石原隆江氏寄贈



37. 小磯良平 (1903-1988)
《貴婦人の人形》 1977 年 紙・リトグラフ
52 × 36cm 石原隆江氏寄贈



38. 小磯良平 (1903-1988)
《黒マントの人形》 1977 年 紙・リトグラフ
52 × 36cm 石原隆江氏寄贈



39. 小磯良平 (1903-1988)
《格子縞のドレスの人形》 1977年 紙・リトグラフ
52 × 36cm 石原隆江氏寄贈



40. 小磯良平 (1903-1988)
《オレンジ色のドレスの人形》 1977年 紙・リトグラフ
52 × 36cm 石原隆江氏寄贈



41. 小磯良平 (1903-1988)
《フェルトの帽子の人形》 1977年 紙・リトグラフ
52 × 36cm 石原隆江氏寄贈



42. 小磯良平 (1903-1988)
《椅子に座る女》 1980年 紙・リトグラフ
51 × 43cm 石原隆江氏寄贈



43. 小磯良平 (1903-1988)
《リボンの人形》 1981年 紙・リトグラフ
39 × 30cm 石原隆江氏寄贈



44. 小磯良平 (1903-1988)
《紫のガウンの人形B》 1984年 紙・リトグラフ
37.5 × 27cm 石原隆江氏寄贈



45. 小磯良平 (1903-1988)
《人形》 制作年不詳 紙・リトグラフ
31 × 26cm 石原隆江氏寄贈



46. 小磯良平 (1903-1988)
《夏草》 制作年不詳 紙・エッチング
27.5 × 31.5cm 石原隆江氏寄贈



47. 小磯良平 (1903-1988)
《白川女》 制作年不詳 紙・エッチング
38.5 × 24cm 石原隆江氏寄贈



48. 小磯良平 (1903-1988)
《婦人像》 制作年不詳 紙・エッチング
19.5 × 15.3cm 石原隆江氏寄贈



49. 佐藤忠良 (1912-2011)
《未菜》 1978年 紙・リトグラフ
30.5 × 20cm 石原隆江氏寄贈



50. 佐藤忠良 (1912-2011)
《おしゃれの理子》 1978年 紙・リトグラフ
32.5 × 22.5cm 石原隆江氏寄贈



51. 佐藤忠良 (1912-2011)
《冬帽子 (或る日の女I)》 1987年 紙・リトグラフ
49 × 32cm 石原隆江氏寄贈



52. 佐藤忠良 (1912-2011)
《イヤリング (或る日の女III)》 1987年 紙・エッチング
33 × 24cm 石原隆江氏寄贈



53. 佐藤忠良 (1912-2011)
《座像 (或る日の女IV)》 1987年 紙・エッチング
35.5 × 26cm 石原隆江氏寄贈



54. 佐藤忠良 (1912-2011)
《スカーフ》 1989年 紙・リトグラフ
58 × 43cm 石原隆江氏寄贈



55. 佐藤忠良 (1912-2011)
《チコ》 1989年 紙・リトグラフ
38 × 53cm 石原隆江氏寄贈



56. 佐藤忠良 (1912-2011)
《女性像》 1990年 紙・リトグラフ
55 × 43cm 石原隆江氏寄贈



57. 佐藤忠良 (1912-2011)
《樹》 1990年 紙・リトグラフ
43 × 34cm 石原隆江氏寄贈



58. 佐藤忠良 (1912-2011)
《裸婦》 制作年不詳 紙・エッチング
42 × 34cm 石原隆江氏寄贈



59. 藤田嗣治 (1886-1968)
《燕と子どもたち》 1964年 紙・リトグラフ
28 × 42.5cm 石原隆江氏寄贈



60. 吉川静子 (1934-)
《無題》 1990-1994年 紙・リトグラフ
68 × 49.5cm 石原隆江氏寄贈



61. 吾妻兼治郎 (1926-)
《MU-785》 1978年 ブロンズ
20.5 × 41.5 × 31.5cm 石原隆江氏寄贈



62. 吾妻兼治郎 (1926-)
《鳥》 制作年不詳 軽合金、樹脂パネル他
86.5 × 55 × 27cm 石原隆江氏寄贈



63. 岩野勇三 (1931-1987)
《はぐれっ子》 1983年 ブロンズ
h65.3cm 石原隆江氏寄贈



64. 掛井五郎 (1930-)
《とんでもないよ》 1983年 ブロンズ
20.5 × 14.5 × 5cm 石原隆江氏寄贈



65. 木内 克 (1892-1977)
《裸婦像》 1973年 軟陶
h23.5cm 石原隆江氏寄贈



66. 木内 克 (1892-1977)
《裸婦像》 1973年 テラコッタ
h19.5cm 石原隆江氏寄贈



67. 桜井祐一 (1914-1981)
《印度服の女》 1976年 ブロンズ
68.5 × 21.5 × 13cm 石原隆江氏寄贈



68. 笹戸千津子 (1948-)
《彫刻家》 1988年 ブロンズ
37 × 25 × 24cm 石原隆江氏寄贈



69. 笹戸千津子 (1948-)
《おんなの子》 1994年 ブロンズ
43 × 17.5 × 9.5cm 石原隆江氏寄贈



70. 佐藤忠良 (1912-2011)
《ジャコピン》 1977年 ブロンズ
34 × 11 × 22cm 石原隆江氏寄贈



71. 澄川喜一 (1931-)
《そりのあるかたち》 1980年 ブロンズ
22 × 75 × 9cm 石原隆江氏寄贈



72. 高田博厚 (1900-1987)
《小さなトルソ》 1961年 ブロンズ
24.5 × 11.5 × 8.5cm 石原隆江氏寄贈



73. 流政之 (1923-)
《風の実》 1977年 ブロンズ
41.5 × 30 × 13cm 石原隆江氏寄贈



74. 舟越保武 (1912-2002)
《杏》 1982年 ブロンズ
118 × 37 × 30cm 石原隆江氏寄贈



75. 舟越保武 (1912-2002)
 《R》 1986年 ブロンズ
 29 × 25 × 27cm 石原隆江氏寄贈



76. 笹戸千津子 (1948-)
 《裸婦》 制作年不詳 紙・鉛筆、チョーク
 35.5 × 27.5cm 石原隆江氏寄贈



77. 笹戸千津子 (1948-)
 《裸婦》 制作年不詳 紙・鉛筆、チョーク
 36 × 25cm 石原隆江氏寄贈



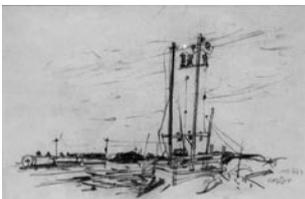
78. 笹戸千津子 (1948-)
 《裸婦》 制作年不詳 紙・鉛筆、チョーク
 35.5 × 27.5cm 石原隆江氏寄贈



79. 笹戸千津子 (1948-)
 《裸婦》 制作年不詳 紙・鉛筆、チョーク
 37 × 26cm 石原隆江氏寄贈



80. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《銚子》 1960年 紙・鉛筆、コンテ
 19 × 29cm 石原隆江氏寄贈



81. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《富山》 1960年 紙・コンテ
 24.6 × 35.5cm 石原隆江氏寄贈



82. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《チューリッヒへの道 (ドイツ)》 1973年
 紙・パステル、鉛筆 28 × 22cm 石原隆江氏寄贈



83. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《フランクフルト駅工事中》 1973年 紙・ボールペン、パステル、
 鉛筆 22 × 28cm 石原隆江氏寄贈



84. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《腰かけた婦人像》 1975年 紙・コンテ、鉛筆
 30 × 38cm 石原隆江氏寄贈



85. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《ジャコピン》 1975年 紙・パステル、鉛筆、コンテ
 25 × 36cm 石原隆江氏寄贈



86. 佐藤忠良 (1912-2011)
 《煙突》 1984年 紙・コンテ
 17.5 × 25.5cm 石原隆江氏寄贈



87. 佐藤忠良 (1912-2011)

《キビトーク枕木工場跡》 1992.8.14 紙・パステル、鉛筆
25 × 34cm 石原隆江氏寄贈



88. 佐藤忠良 (1912-2011)

《神田川》 1998.12.23 紙・鉛筆
26.8 × 30.5cm 石原隆江氏寄贈



89. 佐藤忠良 (1912-2011)

《裸婦》 制作年不詳 紙・鉛筆、チョーク
34.5 × 23cm 石原隆江氏寄贈



90. 舟越保武 (1912-2002)

《少女像》 1960年代 紙・コンテ
38.7 × 30.4cm 石原隆江氏寄贈



91. 資料

『小磯良平版画集「人形」』 1977
ウメダアート 石原隆江氏寄贈



92. 資料 佐藤忠良 (1912-2011)

《花 (記念品)》 1983年 ブロンズ
13 × 7 × 2cm 石原隆江氏寄贈



93. 資料

『佐藤忠良素描集』 1982年 紙・オフセット (21点組)
現代美術社 石原隆江氏寄贈



94. 資料

『佐藤忠良 彫刻の世界』 1990年 レーザーディスク (ビデオ
テープ欠) 札幌テレビ放送 石原隆江氏寄贈



95. 朝倉 摂 (1922-2014)

《寮》 1952年 カンヴァス・岩絵具
65.4 × 91.1cm 伊藤亜古氏寄贈



96. 朝倉 摂 (1922-2014)

《おんな》 1955年頃 カンヴァス・岩絵具
80.9 × 116.7cm 伊藤亜古氏寄贈



97. 朝倉 摂 (1922-2014)

《ズリ山》 1956年 カンヴァス・岩絵具
73.8 × 116.7cm 伊藤亜古氏寄贈



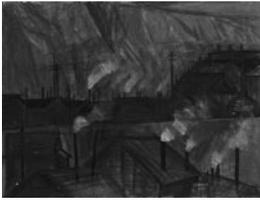
98. 朝倉 摂 (1922-2014)

《三人》 1956年 カンヴァス・岩絵具
97.8 × 145.5cm 伊藤亜古氏寄贈



99. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[炭鉱風景]》 1956年頃 カンヴァス・岩絵具
61.6 × 81.0cm 伊藤亜古氏寄贈



100. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[スコップと石炭袋]》 1956年頃 カンヴァス・岩絵具
53.6 × 65.2cm 伊藤亜古氏寄贈



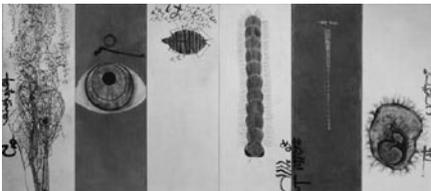
101. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[1960-6月 (内部への挑戦)]》 1960年 紙・岩絵具
123.4 × 197.0cm 伊藤亜古氏寄贈



102. 朝倉 摂 (谷川俊太郎、栗津潔の名前書き込みあり、合作か)

《[屏風]》 1964年 紙・岩絵具 六曲一双
(右) 146.7 × 329.8cm (左) 146.6 × 330.2cm 伊藤亜古氏寄贈



103. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[朝倉響子像]》 1943年 紙・水彩
44.0 × 31.6cm 伊藤亜古氏寄贈



104. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[スケッチブック (東北)]》 1950年代 紙・鉛筆
37.0 × 26.0cm 伊藤亜古氏寄贈

105. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[スケッチブック (ズリ山、米国基地、魚市場)]》 1950年代 紙・鉛筆
37.6 × 30.5cm 伊藤亜古氏寄贈

106. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[寮1]》 1952年頃 紙・鉛筆
25.6 × 31.1cm 伊藤亜古氏寄贈



107. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[寮2]》 1952年頃 紙・鉛筆
21.6 × 31.2cm 伊藤亜古氏寄贈



108. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[おんな1]》 1955年頃 紙・鉛筆
25.6 × 35.8cm 伊藤亜古氏寄贈



109. 朝倉 摂 (1922-2014)

《[おんな2]》 1955年頃 紙・コンテ
36.4 × 45.3cm 伊藤亜古氏寄贈



110. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[おんな 3]》 1955年頃 紙・鉛筆
 36.0 × 45.2cm 伊藤亜古氏寄贈



111. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[おんな 4]》 1955年頃 紙・インク
 25.6 × 35.6cm 伊藤亜古氏寄贈



112. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[おんな 5]》 1955年頃 紙・鉛筆
 36.0 × 45.3cm 伊藤亜古氏寄贈



113. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[おんな 6]》 1955年頃 紙・コンテ
 35.4 × 45.2cm 伊藤亜古氏寄贈



114. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[ズリ山]》 1955年 紙・鉛筆
 37.8 × 59.0cm 伊藤亜古氏寄贈



115. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[炭鉱夫 (2 図)]》 1955-56年 紙・コンテ
 45.0 × 36.8cm 伊藤亜古氏寄贈



116. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[炭鉱夫 (カンテラ)]》 1955-56年 紙・コンテ
 45.0 × 35.7cm 伊藤亜古氏寄贈



117. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[炭鉱夫 (座像)]》 1955-56年 紙・鉛筆
 45.0 × 36.5cm 伊藤亜古氏寄贈



118. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[トロッコ風景]》 1955-56年 紙・鉛筆
 37.8 × 45.0cm 伊藤亜古氏寄贈



119. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[女性像]》 1950年代 紙・鉛筆
 36.0 × 27.0cm 伊藤亜古氏寄贈



120. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[女性像 (上向き)]》 1950年代 紙・墨、水彩
 29.4 × 25.2cm 伊藤亜古氏寄贈



121. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[女性像 (手)]》 1950年代 紙・鉛筆
 38.1 × 27.1cm 伊藤亜古氏寄贈



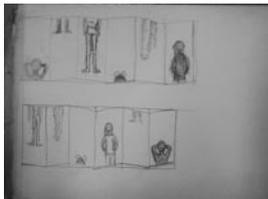
122. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[女性像 (かご)]》 1950年代 紙・鉛筆
 35.0 × 25.2cm 伊藤亜古氏寄贈



123. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[女性像 (下向き)]》 1950年代 紙・鉛筆
 36.0 × 27.2cm 伊藤亜古氏寄贈



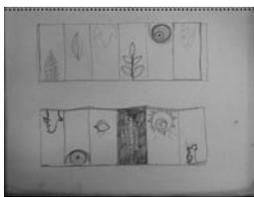
124. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[屏風下絵1]》 1964年頃 紙・鉛筆
 27.4 × 37.0cm 伊藤亜古氏寄贈



125. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[屏風下絵2]》 1964年頃 紙・鉛筆
 28.1 × 37.1cm 伊藤亜古氏寄贈



126. 朝倉 摂 (1922-2014)
 《[屏風下絵3]》 1964年頃 紙・鉛筆
 28.1 × 37.1cm 伊藤亜古氏寄贈



127. 鎌田正蔵 (1913-1999)
 《婦人座像》 1934年 カンヴァス・油彩
 91.5 × 72.8cm 鎌田陽子氏寄贈



128. 鎌田正蔵 (1913-1999)
 《自画像》 1946年3月 カンヴァス・油彩
 40.8 × 31.5cm 鎌田陽子氏寄贈



129. 鎌田正蔵 (1913-1999)
 《M子の像》 1947年 カンヴァス・油彩
 79.8 × 65.8cm 鎌田陽子氏寄贈



130. 鎌田正蔵 (1913-1999)
 《母子像》 1949年 カンヴァス・油彩
 112.0 × 80.7cm 鎌田陽子氏寄贈



131. 鎌田正蔵 (1913-1999)
 《座像》 1950年 カンヴァス・油彩
 80.5 × 60.8cm 鎌田陽子氏寄贈



132. 鎌田正蔵 (1913-1999)
 《鏡と女》 1951年 カンヴァス・油彩
 80.5 × 53.2cm 鎌田陽子氏寄贈



133. 鎌田正蔵 (1913-1999)
 《[裸体男性群像]》 1951年 カンヴァス・油彩
 111 × 145cm 鎌田陽子氏寄贈



134. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《春》 1952年 カンヴァス・油彩
65.5 × 90.8cm 鎌田陽子氏寄贈



135. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《作品》 1952年 カンヴァス・油彩
89.5 × 130.5cm 鎌田陽子氏寄贈



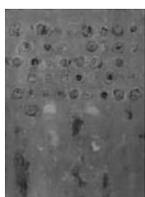
136. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《[作品]》 1958年 カンヴァス・油彩
106.5 × 145.2cm 鎌田陽子氏寄贈



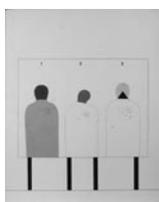
137. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《作品 黒》 1958年 カンヴァス・油彩
102.9 × 166.8cm 鎌田陽子氏寄贈



138. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《作品 シロ》 1961年 カンヴァス・油彩
141.0 × 104.5cm 鎌田陽子氏寄贈



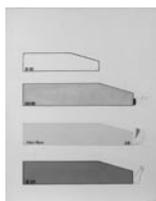
139. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《アリスハーズに捧げる作品 1 標的》 1969年 カンヴァス・油彩
137.1 × 106.0cm 鎌田陽子氏寄贈



140. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《アリスハーズに捧げる作品 2 プラカード》 1969年 カンヴァス・油彩
136.6 × 106.0cm 鎌田陽子氏寄贈



141. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《アリスハーズに捧げる作品 3 アリスハーズ氏の殉教》 1969年 カンヴァス・油彩
136.6 × 105.8cm 鎌田陽子氏寄贈



142. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《アリスハーズに捧げる作品 4 埋葬》 1969年 カンヴァス・油彩
136.1 × 106.0cm 鎌田陽子氏寄贈



143. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《アリスハーズに捧げる作品 5 献花》 1969年 カンヴァス・油彩
136.5 × 106.2cm 鎌田陽子氏寄贈



144. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《黒い森の中で》 1986年 6-8月 カンヴァス・油彩
162.3 × 112.2cm 鎌田陽子氏寄贈



145. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《作品 929》 1992年 8月 カンヴァス・油彩
162.1 × 112.2cm 鎌田陽子氏寄贈



146. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 1》 1958年 紙・水彩など
26.8 × 40.8cm 鎌田陽子氏寄贈



147. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 2》 1958年 紙・水彩など
40.7 × 26.7cm 鎌田陽子氏寄贈



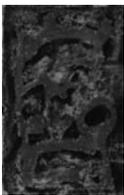
148. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 3》 1958年 紙・水彩など
40.9 × 26.9cm 鎌田陽子氏寄贈



149. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 4》 1958年 紙・水彩など
40.7 × 26.8cm 鎌田陽子氏寄贈



150. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 5》 制作年不詳 紙・水彩など
40.8 × 26.5cm 鎌田陽子氏寄贈



151. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 6》 1958年 紙・水彩など
40.7 × 26.7cm 鎌田陽子氏寄贈



152. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 7》 制作年不詳 紙・水彩など
39.7 × 27.3cm 鎌田陽子氏寄贈



153. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《夕暮れに歩く人 [ママ]》 1958年 紙・水彩など
23.8 × 20.4cm 鎌田陽子氏寄贈



154. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 8》 1958年 (1957?) 紙・水彩など
26.7 × 40.7cm 鎌田陽子氏寄贈



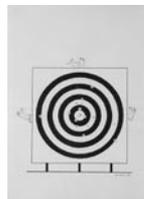
155. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《太陽と人》 1958年 紙・水彩など
40.8 × 26.9cm 鎌田陽子氏寄贈



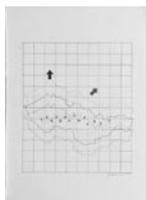
156. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 9》 1969年 紙・インク
54.9 × 39.5cm 鎌田陽子氏寄贈



157. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 10》 1969年 紙・インク
54.5 × 39.3cm 鎌田陽子氏寄贈



158. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 11》 1969年 紙・インク
54.5 × 39.3cm 鎌田陽子氏寄贈



159. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 12》 1969年 紙・インク
55.3 × 39.7cm 鎌田陽子氏寄贈



160. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 13》 1970年 紙・アクリル
50.4 × 38.0cm 鎌田陽子氏寄贈



161. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 14》 1972年 紙・アクリル、コラージュ
54.9 × 39.8cm 鎌田陽子氏寄贈



162. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 15》 1973年 紙・アクリル、コラージュ
54.9 × 39.2cm 鎌田陽子氏寄贈



163. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《貴装》 1976年1月 紙・アクリル
51.5 × 39.7cm 鎌田陽子氏寄贈



164. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 16》 1976年 紙・アクリル
46.5 × 38.0cm 鎌田陽子氏寄贈



165. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 17》 1977-1978年 紙・アクリル
48.1 × 37.6cm 鎌田陽子氏寄贈



166. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 18》 1979年2月 紙・アクリル
46.6 × 37.8cm 鎌田陽子氏寄贈



167. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《六つのひらいたかたち》 1979年 紙・アクリル
56.8 × 38.2cm 鎌田陽子氏寄贈



168. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 19》 1980年7月 紙・アクリル
45.0 × 35.5cm 鎌田陽子氏寄贈



169. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 20》 1980年 紙・アクリル
45.4 × 36.7cm 鎌田陽子氏寄贈



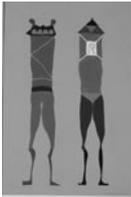
170. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 21》 1981年6月 紙・アクリル
56.6 × 37.6cm 鎌田陽子氏寄贈



171. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 22》 1982年2月 紙・アクリルなど
54.3 × 37.9cm 鎌田陽子氏寄贈



172. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 23》 1983年2月 紙・アクリル
56.7 × 37.9cm 鎌田陽子氏寄贈



173. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 24》 1983年2月 紙・アクリル
56.3 × 37.8cm 鎌田陽子氏寄贈



174. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 25》 1983年8月 紙・アクリル
54.0 × 38.0cm 鎌田陽子氏寄贈



175. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《赤い服》 1984年12月 紙・アクリル
51.4 × 36.7cm 鎌田陽子氏寄贈



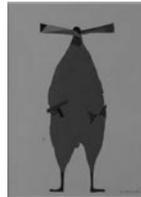
176. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《まつり黒》 1984年4月 紙・アクリル
57.1 × 38.0cm 鎌田陽子氏寄贈



177. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 26》 1985年2月22日 紙・アクリル
52.2 × 37.4cm 鎌田陽子氏寄贈



178. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 27》 1986年1月 紙・アクリル
54.6 × 39.5cm 鎌田陽子氏寄贈



179. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 28》 1986年3月 紙・アクリル
54.8 × 39.5cm 鎌田陽子氏寄贈



180. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 29》 1986年3月 紙・アクリル
54.7 × 39.1cm 鎌田陽子氏寄贈



181. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 30》 1986年2月 紙・アクリル
54.6 × 39.4cm 鎌田陽子氏寄贈



182. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 31》 1986年 紙・アクリル
54.6 × 39.3cm 鎌田陽子氏寄贈



183. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 32》 1987年 11月 紙・アクリルなど
58.6 × 40.1cm 鎌田陽子氏寄贈



184. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 33》 1987年 7月 紙・アクリルなど
58.5 × 40.3cm 鎌田陽子氏寄贈



185. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 34》 1989年 2月 紙・アクリルなど
58.6 × 40.2cm 鎌田陽子氏寄贈



186. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 35》 1991年 5月 紙・アクリルなど
寸法 54.3 × 38.2cm 鎌田陽子氏寄贈



187. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 36》 1991年 6月 紙・アクリルなど
58.8 × 40.5cm 鎌田陽子氏寄贈



188. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 37》 1991年 6月 紙・アクリルなど
59.0 × 40.3cm 鎌田陽子氏寄贈



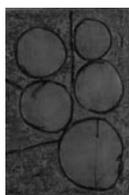
189. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 38》 1992年 4月 紙・アクリルなど
56.6 × 38.0cm 鎌田陽子氏寄贈



190. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 39》 1992年 5月 紙・アクリル
54.7 × 39.6cm 鎌田陽子氏寄贈



191. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 40》 1993年 7月 29日 紙・アクリルなど
58.5 × 40.2cm 鎌田陽子氏寄贈



192. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 41》 1993年 9月 カンヴァス・アクリルなど
35.5 × 26.8cm 鎌田陽子氏寄贈



193. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《エスキース 42》 1993年 9月 カンヴァス・アクリルなど
35.4 × 26.9cm 鎌田陽子氏寄贈



194. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《エスキース 43》 1993年9月23日 カンヴァス・アクリルなど
35.3 × 26.5cm 鎌田陽子氏寄贈



195. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《エスキース 44》 1993年9月 カンヴァス・アクリルなど
35.5 × 26.7cm 鎌田陽子氏寄贈



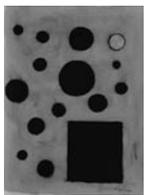
196. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《エスキース 45》 1994年8月29日 紙・アクリルなど
54.3 × 38.4cm 鎌田陽子氏寄贈



197. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《エスキース 46》 1995年8月3日 紙・アクリルなど
54.0 × 38.0cm 鎌田陽子氏寄贈



198. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《エスキース 47》 1995年5月2日 紙・アクリルなど
54.1 × 38.4cm 鎌田陽子氏寄贈



199. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《エスキース 48》 1995年9月20日 紙・アクリルなど
53.9 × 38.1cm 鎌田陽子氏寄贈



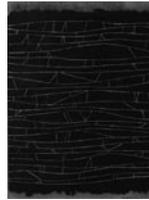
200. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《エスキース 49》 1995年7月12日 紙・アクリルなど
54.0 × 38.0cm 鎌田陽子氏寄贈



201. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《エスキース 50》 1995年5月30日 紙・アクリルなど
54.2 × 38.5cm 鎌田陽子氏寄贈



202. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《エスキース 51》 1996年11月29日 紙・アクリルなど
54.0 × 38.0cm 鎌田陽子氏寄贈



203. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《黒い樹》 1998年12月6日 紙・アクリルなど
32.6 × 25.5cm 鎌田陽子氏寄贈



204. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《スケッチ (潜水艦のある)》 1945年12月5日 紙・鉛筆
24.1 × 31.3cm 鎌田陽子氏寄贈



205. 鎌田正蔵 (1913-1999)

《花嫁をむかえて》 1948年 紙・鉛筆、インク
23.9 × 26.3cm 鎌田陽子氏寄贈



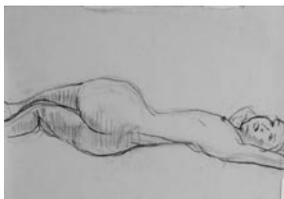
206. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《踊る女たち》 1948年 紙・鉛筆、インク
24.1 × 32.0cm 鎌田陽子氏寄贈



207. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《素描1》 制作年不詳 紙・コンテ
32.5 × 47.5cm 鎌田陽子氏寄贈



208. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《素描2》 制作年不詳 紙・コンテ
33.0 × 47.2cm 鎌田陽子氏寄贈



209. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《素描3》 制作年不詳 紙・コンテ
63.6 × 48.2cm 鎌田陽子氏寄贈 (210)の表面



210. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《素描4》 1949年 紙・コンテ
63.6 × 48.2cm 鎌田陽子氏寄贈 (209)の裏面



211. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《素描5》 制作年不詳 紙・コンテ
64.5 × 47.5cm 鎌田陽子氏寄贈



212. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《素描6》 1951年 紙・コンテ
64.4 × 47.2cm 鎌田陽子氏寄贈



213. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《泉千代像》 1953年 紙・コンテ
64.5 × 47.5cm 鎌田陽子氏寄贈



214. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《素描7》 1955年 紙・インク
36.1 × 27.2cm 鎌田陽子氏寄贈



215. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《素描8》 1955年 紙・インク
36.1 × 27.2cm 鎌田陽子氏寄贈



216. 鎌田正蔵 (1913-1999)
《素描9》 1955年 紙・インク
36.1 × 26.6cm 鎌田陽子氏寄贈



217. 資料 鎌田正蔵 (1913-1999)
鎌田正蔵関係資料 美術資料(型紙、メモ)一括
鎌田陽子氏寄贈

218. 資料 鎌田正蔵 (1913-1999)

鎌田正蔵関係資料 二次資料 (スクラップブック、作家肖像パネル) 一括 鎌田陽子氏寄贈

219. 渡部 武 (1932-)

《鳥料理する二人の男》 1952年 カンヴァス・油彩
112.0 × 145.0cm 渡部武氏寄贈



220. 渡部 武 (1932-)

《風景=畸形・幻影 (6)》 1976年 (一部加筆 2015-16年)
カンヴァス・油彩 130.3 × 162.1cm 渡部武氏寄贈



221. 渡部 武 (1932-)

《風景=畸形・幻影 (7)》 1976年 (一部加筆 2015-16年)
カンヴァス・油彩 130.3 × 162.1cm 渡部武氏寄贈



222. 渡部 武 (1932-)

《景=畸形・幻影 (1)》 1977年 (一部加筆 2015-16年)
カンヴァス・油彩 130.3 × 162.1cm 渡部武氏寄贈



223. 渡部 武 (1932-)

《景=畸形・幻影 (2)》 1977年 (一部加筆 2015-16年)
カンヴァス・油彩 130.3 × 162.1cm 渡部武氏寄贈



224. 木村芳雨 (1877-1917)

《爵》 1916年 銅
32.9 × 16.2 × 21.5cm 藤純子氏寄贈



225. 西山勇三 (1929-)

《樹の人》 2012年 木彫・着色
99 × 60 × 30cm 西山勇三氏寄贈



226. 資料 張堂大龍 (龍禅子、1876-1947)

《耕雲種月》 紙本墨書、軸
139.5 × 35.0cm 大嶋修三氏寄贈



227. 資料 《清興會規》 1908年 冊子

24.4 × 17.8cm 大嶋修三氏寄贈



228. 資料 佐竹永海ほか

《是真帖》 68面 1842-1851年頃 書画貼交画帖
28.5 × 26.5cm 大嶋修三氏寄贈



229. 資料 菊池容斎ほか

《書画帖》 32面 1849年 書画貼交画帖
32.0 × 21.4cm 大嶋修三氏寄贈



230. 資料 [美人画版画] 7組 15枚
大判(各紙寸 36.8 × 25.0cm) 大嶋修三氏寄贈

- 230-1 宮川春汀(1873-1914)《美人十二ヶ月 其一 追羽子》
1898・明治31年 松木平吉版 大判三枚続き
- 230-2 宮川春汀(1873-1914)《美人十二ヶ月 其三 桜》
1898・明治31年 松木平吉版 大判三枚続き
- 230-3 宮川春汀(1873-1914)《美人十二ヶ月 其五 藤見》
1898・明治31年 松木平吉版 大判三枚続き
- 230-4 楊洲周延(1838-1912)《美人囲碁之図》
1902・明治35年 勝木吉勝版 大判三枚続き
- 230-5 水野年方(1866-1908)《千種の花》
1897・明治30年か 秋山武右衛門版 大判
- 230-6 水野年方(1866-1908)《千種の花》
1897・明治30年か 秋山武右衛門版 大判
- 230-7 水野年方(1866-1908)《今様美人 九》
1899・明治32年 秋山武右衛門版 大判

235. 資料 書籍『明治大正書画大観』 天地黄玄 1918年
同刊行会編発行 帙入り 全4冊
大嶋修三氏寄贈



236. 資料 書籍『落風と古城』内田茂文 1918年
汎日本協会・毎日通信社 大嶋修三氏寄贈

231. 資料 無銘 [谷文晁画集] 肉筆による縮図帖
48頁 53図 明治末~大正頃 52.6 × 35.0cm
大嶋修三氏寄贈



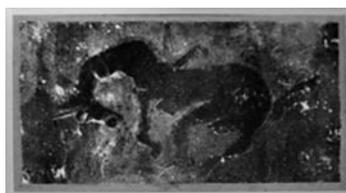
237. 資料 書籍『日本最初五十年前之新聞』 横山三郎
1928年 大嶋修三氏寄贈



232. 資料 書籍『懶雲洞画集第二輯』橋本関雪 1917年
大嶋修三氏寄贈



238. 資料 入江比呂(1907-1992)
《倒れる馬》1990年 紙・アクリル
7.0 × 13.5cm 川妻さち子氏寄贈



233. 資料 書籍『和亭集』滝和亭 1912年 国華社
帙入り 全3冊 大嶋修三氏寄贈



239. 資料 桂川 寛(1924-2011)《ぼろでい当節いろはかるた》
関係資料 1977年 紙・コラージュ、インク、水彩など 21点
印刷(台紙付) 16枚、印刷(台紙なし) 4枚 川妻さち子氏寄贈



234. 資料 書籍『書画大観』乾坤 1917年 同刊行会編発行
帙入り 全4冊 大嶋修三氏寄贈



240. 資料 書籍『無心の貌』
西達男著・発行 1978年 エディション A版 49/50
26.3 × 38.0 cm 川妻さち子氏寄贈



4 図書資料の収集

収蔵図書数 56,444 冊 (平成 28 年 1 月 31 日現在)

5 保存管理

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

なお今年度は長期休館のため虫菌害モニタリング調査は実施しなかった。

(1) 彫刻作品の清掃と状態点検の実施

時期：平成 28 年 3 月 5 日～7 日

場所：エントランス、ロビーの彫刻作品の清掃と状態点検等

(2) 美術作品の修復

平成 27 年度は、元永定正《作品 1》、斎藤義重《作品 13》、大山忠作《室内》の修復を実施した。

(3) 放射線測定

美術館施設内および敷地内の放射線測定を実施、測定結果を当館ホームページで公開した。

時期：毎月 1 回、計 12 回測定

場所：美術館内および敷地内、計 45 か所

測定機種：ALOKA TCS-172 (γ線)、ALOKA TGS-146 (β線)

第 3 節 展示事業

1 常設展

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して通常、年 4 回 (版画は年 8 回) 展示替えを行っている。

(1) コレクション展

① 「コレクション展Ⅳ」

会期：平成 27 年 1 月 6 日(火)～4 月 5 日(日)

内容：・没後 50 年 須田珙中：《篝火》《枯山水石組》など
・院展の日本画：福王寺法林《バドガオンの月》など
・生誕 100 年 野地正記：《スダマティ》など
・100 年前の関根正二：《死を思う日》《大樹》《裸婦》
・河野保雄コレクション：麻生三郎、竹久夢二など
・海外作品：ワイエス、ベン・シャーン、ルオーなど
・斎藤 清とエルンスト《博物誌》

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考 (*は寄託作品)]

展示室 A

【没後 50 年 須田珙中】

須田珙中/牡丹/制作年不詳/絹本着色、軸装
須田珙中/梅吹く夜/制作年不詳/絹本着色、軸装
須田珙中/滝飛燕/制作年不詳/絹本着色、軸装
須田珙中/夏の月/制作年不詳/絹本着色、軸装
須田珙中/紅葉の溪/制作年不詳/絹本着色、軸装
須田珙中/磐梯初秋/制作年不詳/絹本着色、軸装
須田珙中/溪の葉月/1936/絹本着色、屏風四曲一隻/*
須田珙中/篝火/1959/紙本着色、屏風四曲一隻
須田珙中/枯山水石組/1956/紙本着色

【院展の日本画】

星 茂/木精/1979/紙本着色
星 茂/三神像/1986/紙本着色
常盤大空/天馬奨来図/1968/紙本着色
福王寺法林/バドガオンの月/1982/紙本着色
福王寺法林/ヒマラヤの花/1983/紙本着色

【生誕 100 年 野地正記】

野地正記/自画像/1936-40 頃/ボード・油彩
野地正記/男の像/1936-40 頃/カンヴァス・油彩
野地正記/スダマティ (死んでしまった)/1948/紙・水彩
野地正記関係資料 1、2、3 マライ (マレーシア) 抑留時代の習作から
/1946-48
野地正記/試作 4/1956/紙・パステル、木炭、インク
野地正記/無題 (かお)/1965-67/紙・水彩
野地正記/みどり・天使/1963-65 頃/紙・水彩、インク
野地正記/六月の青の愛達/1966-67/紙・水彩
野地正記/愛の中の愛たち/1960 年代/紙・水彩
野地正記/無題 (赤)/1960 年代/紙・水彩
野地正記/習作 人体 1/1965-67.5.10/紙・水彩、インク、鉛筆
野地正記/習作 人体 2/1965-67/紙・水彩、インク、鉛筆
野地正記/習作 人体 3/1965-67 頃/紙・水彩、インク、鉛筆
野地正記/女・碧/1966.8.24/紙・水彩、インク、鉛筆
野地正記/無題 (はな)/1964.7.22/紙・水彩
野地正記/雨/1970/紙・水彩

野地正記/無題(魚のいる)/1963.6/紙・水彩、インク
 野地正記/無題(目のある)/1963-66/紙・水彩、インク
 野地正記/無題(茶)/1966-67/紙・水彩
 野地正記/女の若/1965-77/紙・水彩、インク
 野地正記/無題/1964-66/紙・水彩、インク
 野地正記/被爆/1965-77/紙・水彩、インク
 野地正記/葉の記憶/1967/紙・インク
 野地正記/核/1964-67/紙・水彩
 野地正記/無題(みどり)/1963-66/紙・水彩
 野地正記/無題(紅)/1963.9.4/紙・水彩
 野地正記関係資料4 瀧口修造との交流を中心に/1960年代以降
 野地正記/飾り帽子の女/1963-78/紙・水彩
 野地正記/散歩/1960年代-1978/紙・水彩
 野地正記/ひと/1994-96/紙・水彩、クレヨン

展示室B

【100年前の関根正二】

関根正二/大樹(裸婦)/1915/紙・木炭
 関根正二/菊川橋辺り/1915/板・油彩/*
 関根正二/砂村石渡牧場/1915頃/板・油彩/*
 関根正二/死を思う日/1915/カンヴァス・油彩/*
 関根正二/風景/1915頃/カンヴァス・油彩/*
 安井曾太郎/テーブルの上/1912/カンヴァス・油彩
 村山槐多/庭園の少女/1914/紙・水彩
 上野山清貢/ムッシュOの肖像/1915/カンヴァス・油彩
 関根正二/井上郁像/1917/カンヴァス・油彩/*
 関根正二/真田吉之助夫妻像/1918/カンヴァス・油彩
 関根正二/自画像/1918/カンヴァス・油彩
 関根正二関係資料
 関根正二書簡 村岡黒影宛/1918.5.20 消印
 関根正二年賀状 村岡黒影宛/1919.1.1 消印
 関根正二葉書 村岡黒影宛/1919.1.25 消印
 関根正二遺作『慰められつつ悩む』絵はがき
 関根正二遺作展覧会目録『信仰の悲み』兜屋画堂/1919.9.4 発行

【河野保雄コレクション:彫刻と絵画】

吉井 忠/森林帯/1938/カンヴァス・油彩
 山口 薫/水/1944/カンヴァス・油彩
 麻生三郎/街と人/1959/カンヴァス・油彩
 鶴岡政男/マスク(仮面)/1954/カンヴァス・油彩
 鶴岡政男/untitled/制作年不詳/カンヴァス・油彩
 川西 英/版画集『南蛮曲Ⅰ』より/1927/紙・木版
 竹久夢二/花火(『婦人クラブ』8月号表紙)/1924/紙・木版
 竹久夢二/雪の風(『婦人クラブ』12月号表紙)/1924/紙・木版
 竹久夢二/雪の夜の伝説(『婦人クラブ』口絵)/1926/紙・木版
 中原淳一/ものおもひ/制作年不詳/紙・石版
 谷内六郎/狸囃子/制作年不詳/厚紙・油彩
 初山 滋/風/1948/紙・木版
 初山 滋/少年の顔/制作年不詳/紙・色鉛筆
 初山 滋/あめんぼの行進/制作年不詳/紙・水彩
 荻原守衛/洗濯する女/1909/ブロンズ
 朝倉文夫/装甲自動車/1930年代/ブロンズ
 中村直人/楽器/制作年不詳/ブロンズ
 陽 咸二/支那人の皿廻し/1928/ブロンズ
 梅原龍三郎/エウロペとゼウス/制作年不詳/ブロンズ
 梅原龍三郎/裸婦像(椅子に座る)/制作年不詳/ブロンズ
 梅原龍三郎/裸婦/制作年不詳/ブロンズ
 鶴岡政男/死/制作年不詳/ブロンズ
 鶴岡政男/鳥/1951/ブロンズ
 岡本太郎/太陽の塔/1970/鉄

桂 ゆき/躍動するカップ/1965/ブロンズ

展示室C

【アメリカの美術】

アンドリュウ・ワイエス/ガニング・ロックス/1966/紙・水彩
 アンドリュウ・ワイエス/松ぼっくり男爵/1976/ボード・テンペラ
 アンドリュウ・ワイエス/冬の水車小屋/1978/紙・水彩
 アンドリュウ・ワイエス/そよ風/1978/紙・水彩
 ベン・シャーン/ドレフュス事件<8点組のうち>/1930(1984刊行)
 /紙・ポショワール
 (5) エステラジー/(7) デュ・パティ・ドゥ・クラム/(8) ラボリ弁護士
 ベン・シャーン/トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・ウォーカー
 /1932-33/紙・グアッシュ
 ベン・シャーン/W. P. A. サンデー/1939/紙・グアッシュ
 ベン・シャーン/ラッキードラゴン/1960/綿布・テンペラ
 ベン・シャーン/『久保山とラッキードラゴン伝説』/1965/書籍
 ベン・シャーン/リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…<24
 点組のうち>/1968/紙・リトグラフ
 (1) 扉I/(3) 多くの都市を/(7) 飛ぶ鳥の姿/(10) 思いがけぬ邂逅/
 (16) 海辺の朝/(22) 死んでゆく人の枕もと/(24) 一篇の詩の最初の
 言葉
 【フランス美術の名品】
 ジョルジュ・ルオー/超人/1916/紙・油彩
 ジョルジュ・ルオー/ミセレーレ<58点組のうち>/1922-27(1948
 刊行)/紙・銅版混合技法
 (31) 汝ら、互いに愛し合うべし/(39) われわれはみな愚かもの…/
 (42) 母たちに忌み嫌われる戦争/(58) 我らが癒されたるは、彼の打
 傷によりてなり

展示室D

【斎藤 清の版画】

斎藤 清/無我/1950/紙・木版
 斎藤 清/愛撫(A)/1953/紙・木版
 斎藤 清/孤蓬庵、大徳寺、京都/1961/紙・木版
 斎藤 清/文楽(F)/1961/紙・木版
 斎藤 清/舞妓、京都(L)/1961/紙・木版
 斎藤 清/舞妓、京都(S)/1961/紙・木版
 斎藤 清/舞妓、京都(M)/1961/紙・木版
 斎藤 清/猜疑/1973/紙・木版
 斎藤 清/慈愛/1975/紙・木版
 斎藤 清/慈愛(D)/1977/紙・木版
 斎藤 清/憩い(B)/1981/紙・木版

【エルンスト《博物誌》】

マックス・エルンスト/博物誌<34点組のうち>/1926/紙・コロ
 タイプ
 (18) 木の葉の習性/(19) 偶像/(20) シーザーのパレット/(23) 予防
 接種を受けたパン/(24) 14歳以下の稲妻/(25) ダイヤモンド婚/
 (26) 振り子時計の起源/(27) スフィンクスの馬小屋にて/(29) 光の
 輪/(31) 太陽の通貨制度/(34) イヴ、我々に残された唯一の女

屋外・ホール彫刻

マリノ・マリーニ/騎手/1956-1957/ブロンズ
 林 範親/路地裏/1994/ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 佐藤忠良/若い女・シャツ/1982/ブロンズ
 井上武吉/My Sky Hole 89-2/1989/ステンレス・鏡面磨き
 フェルナン・レジェ/歩く花/1952-53原型作成/ブロンズ・エナメ
 ル塗装/*
 エミリオ・グレコ/スケートをする女/1951/ブロンズ

(2) 移動美術館

当館所蔵作品の一部を、県内の文化施設で公開展示する事業で、開催館との協働でテーマ、作品選定から実務までを行う。今年度は長期休館にともない、規模を拡大して県内4会場で開催した。

ア 「ふるさと会津の人と四季 —福島県立美術館名品展—」



A4 チラシ

会期：平成 27 年 5 月 2 日(土)～6 月 21 日(日)
 会場：福島県立博物館 企画展示室（会津若松市城東町 1-25）
 開館時間：9 時 30 分～17 時
 休館日：毎週月曜日
 展示作品：61 点
 観覧料：一般・大学生 270(210) 円、高校生以下無料
 ※ () 内は 20 名以上の団体料金
 観覧者数：5,992 名
 担当：堀 宜雄、國島 敏、坂本篤史、白木ゆう美

主催：福島県立美術館、福島県立博物館

概要：

会津地方は、美術愛好家の惜しめない支援もあり、美術を育む風土が近代以降も脈々と息づいてきた。こうして日本画では湯田玉水、坂内青嵐、酒井三良など、水彩画では相田直彦、春日部たすく、渡部菊二など、個性あふれる画家たちを輩出した。さらに会津坂下町出身の斎藤清は、会津の風景を独自の造形感覚で表現し、戦後日本を代表する版画家となった。この展覧会では、会津出身・ゆかりの 15 作家の日本画、水彩画、版画を通して、会津の画家たちによる多彩な近代美術の魅力を探った。

関連事業：

・ギャラリートーク

① 5 月 2 日(土) 13 時 30 分～

講師：早川博明（当館館長） 参加者：30 名

② 5 月 16 日(土) 13 時 30 分～

講師：坂本篤史（当館副主任学芸員）、
 白木ゆう美（当館学芸員） 参加者：計 30 名

③ 6 月 21 日(土) 13 時 30 分～

講師：堀 宜雄（当館専門学芸員） 参加者：計 30 名

・公開対談「喜多方美術倶楽部をめぐって」

日時：6 月 6 日(土) 13 時 30 分～

講師：後藤 學氏（喜多方市美術館長）、
 増淵鏡子（当館主任学芸員） 参加者：45 名



展示風景



公開対談 (6/6)



ギャラリートーク (6/21)

◆出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/材質・技法、形状/寸法 (cm) /備考]

- 1 / 小川芋銭 / 細道絵日記 / 1911 / 紙本墨画淡彩、卷子 / 26.9 × 1115.0
- 2 / 小川芋銭 / 鍾馗図 / 1915 / 綿布墨画淡彩、軸装 / 318.3 × 181.5 / 寄託
- 3 / 小川芋銭 / 於那羅合戦 / 1921 / 紙本墨画淡彩、卷子 / 29.8 × 632.1
- 4 / 小川芋銭 / 田代蘇陽宛書簡 / 不詳 / 紙・墨書 / 18.2 × 128.8 / 河野保雄コレクション
- 5 / 森田恒友 / 日本風景版画第二集 会津之部 1 若松城 / 1917 / 紙・木版 / 17.5 × 23.9
- 6 / 森田恒友 / 日本風景版画第二集 会津之部 2 阿賀川 / 1917 / 紙・木版 / 17.5 × 23.9
- 7 / 森田恒友 / 日本風景版画第二集 会津之部 3 檜原湖畔 / 1917 / 紙・木版 / 24.0 × 17.6
- 8 / 森田恒友 / 日本風景版画第二集 会津之部 4 川上温泉 / 1917 / 紙・木版 / 17.6 × 24.0
- 9 / 森田恒友 / 日本風景版画第二集 会津之部 5 磐梯山麓小湖 / 1917 / 紙・木版 / 17.4 × 24.0
- 10 / 喜多方美術倶楽部 関係資料 / 寄託
- 11 / 酒井三良 / 雪に埋もれつつ正月はゆく / 1919 / 絹本著色、屏風二曲一隻 / 171.1 × 172.8
- 12 / 酒井三良 / 左義長 / 1920 / 絹本著色、軸 / 166.3 × 83.3
- 13 / 酒井三良 / 村芝居 / 1921 / 絹本著色、軸 / 113.7 × 96.2
- 14 / 酒井三良 / 田園秋色図 / 1921-23 / 絹本著色、軸 / 142.1 × 50.6
- 15 / 酒井三良 / 冬暖 / 1936 / 絹本著色、軸 / 各 160.4 × 83.9
- 16 / 酒井三良 / 水郷の一日 / 1939 / 紙本墨画淡彩、卷子 / 47.2 × 727.2
- 17 / 酒井三良 / 江南春色 / 1940 / 紙本墨画淡彩、軸 / 81.8 × 104.5
- 18 / 湯田玉水 / 春日遅々 / 1922 / 絹本墨画淡彩、軸 / 195.5 × 95.7
- 19 / 湯田玉水 / 霜風千林図 / 1926 / 絹本墨画淡彩、軸 / 74.3 × 86.0
- 20 / 湯田玉水 / 北風吹雪 / 1926-28 / 絹本墨画淡彩、軸 / 132.9 × 41.9
- 21 / 坂内青嵐 / 運動会之図 / 1915 / 紙本著色、屏風六曲一隻 / 168.9 × 343.8
- 22 / 猪巻清明 / はさみ将棋 / 1934 / 紙本著色 / 143.0 × 172.0
- 23 / 猪巻清明 / さかだち / 1942 / 紙本著色、屏風二曲一隻 / 178.2 × 193.3
- 24 / 酒井白澄 / 麦畑 / 1927 / 絹本著色 / 136.7 × 99.5
- 25 / 菊地養之助 / 自画像 / 1950 / 紙本著色 / 86.1 × 75.8
- 26 / 菊地養之助 / 階段の人 / 1951 / 紙本著色 / 97.8 × 76.6
- 27 / 菊地養之助 / 煙突の下の子供達 / 1956 / 紙本著色 / 112.0 × 162.1
- 28 / 菊地養之助 / 鍾馗面と母子 / 1982 / 紙本著色 / 100.0 × 80.3
- 29 / 赤城泰舒 / 土塀 / 1920 / 紙・水彩 / 32.8 × 48.1
- 30 / 相田直彦 / 花 / 1925 / 紙・水彩 / 60.8 × 45.8
- 31 / 相田直彦 / 都会の昼時 / 1933 / 紙・水彩 / 73.0 × 91.0
- 32 / 春日部たすく / 落日 / 1948 / 紙・水彩 / 70.3 × 113.8
- 33 / 春日部たすく / 裏磐梯 / 1981 / カンヴァス・水彩 / 53.1 × 72.7
- 34 / 長沢 節 / いねむり / 1972 / カンヴァス・水彩 / 91.1 × 117.2
- 35 / 渡部百合子 / 私の散歩道 / 1967 / 紙・水彩 / 89.5 × 60.8
- 36 / 渡部菊二 / 裏町 / 1932 / 紙・水彩 / 49.9 × 61.0
- 37 / 渡部菊二 / 新聞売り / 1934 / 紙・水彩 / 74.7 × 58.5
- 38 / 渡部菊二 / 人形売りの少女 / 1934 / 紙・水彩 / 75.5 × 58.1
- 39 / 渡部菊二 / 奏でる女 / 1937 / 紙・水彩 / 59.2 × 59.2
- 40 / 渡部菊二 / 手袋 / 1939 / 紙・水彩 / 65.0 × 51.8
- 41 / 渡部菊二 / 勤労の娘たち / 1940 / 紙・水彩 / 115.8 × 90.6
- 42 / 渡部菊二 / 絵を描く人々 / 1941 / 紙・水彩 / 90.7 × 62.5
- 43 / 渡部菊二 / 木瓜を持つ女 / 1941 / 紙・水彩 / 64.9 × 52.2
- 44 / 渡部菊二 / スケッチする少女 / 1943 / 紙・水彩 / 53.2 × 45.4
- 45 / 渡部菊二 / 夏の子 / 1943 / 紙・水彩 / 64.0 × 52.3
- 46 / 斎藤 清 / 秋の只見 / 1980 / 紙本著色 / 97.0 × 375.5
- 47 / 斎藤 清 / 会津の冬、三島町・滝谷 / 1982 / 紙本墨画 / 49.8 × 94.8
- 48 / 斎藤 清 / 会津の冬、坂下町・気多ノ宮 (2) / 1984 / 紙本墨画 / 64.9 × 94.9
- 49 / 斎藤 清 / 会津の冬、高田・下馬場 / 1984 / 紙本墨画 / 64.8 × 95.0
- 50 / 斎藤 清 / 会津の冬、坂下 / 1940 / 紙・木版 / 38.0 × 45.6
- 51 / 斎藤 清 / 会津の冬 (3) / 1970 / 紙・木版 / 38.3 × 52.7
- 52 / 斎藤 清 / 会津の冬 (26) / 1977 / 紙・木版 / 37.4 × 52.6
- 53 / 斎藤 清 / 会津の冬 (50) / 1981 / 紙・木版 / 47.5 × 52.9
- 54 / 斎藤 清 / 会津の冬 (51) / 1982 / 紙・木版 / 38.0 × 51.9
- 55 / 斎藤 清 / ミルク / 1948 / 紙・木版 / 36.6 × 29.8
- 56 / 斎藤 清 / 凝視 (花) / 1950 / 紙・木版 / 60.0 × 41.1
- 57 / 斎藤 清 / ショップガール・パリ / 1960 / 紙・木版 / 51.5 × 37.8
- 58 / 斎藤 清 / 本屋、セーヌ、パリ / 1960 / 紙・木版 / 37.4 × 51.1
- 59 / 斎藤 清 / パリ (3) / 1961 / 紙・木版 / 52.9 × 38.5
- 60 / 斎藤 清 / 猜疑 / 1973 / 紙・木版 / 45.3 × 74.6
- 61 / 斎藤 清 / かすみ 慈愛 / 1991 / 紙・木版 / 44.2 × 60.3

イ「ふくしまからの発信 福島県立美術館所蔵世界の名作版画展／東日本大震災文化財救援活動報告展」



A4 チラシ

会期：〔第1部 ルオー版画集ミセレーレ全作品〕
平成27年8月7日(金)～20日(木)
〔第2部 20世紀ヨーロッパ版画の名作〕
平成27年9月9日(木)～24日(木)
会場：福島県文化センター2階展示室（福島市春日町5-54）
開館時間：9時30分～17時
休館日：無休
展示作品：137点（第1部：58点、第2部：79点）
観覧料：無料
観覧者数：3,051名（第1部：754名、第2部：2,297名）
担当：久慈伸一、宮武弘、伊藤匡

主催：福島県立美術館
共催：NPO法人福島県立美術館協力会
後援：公益財団法人福島県文化財団、全国美術館会議、
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

概要：

「世界の名作版画展」は2部構成によりルオー、ピカソ、シャガール、エルンストの版画を展示。同時開催の「東日本大震災文化財救援活動報告展」では福島県内における被災文化財の救援活動について、写真パネルにより紹介した。このほか会期中にはミュージアムコンサート、合唱プロジェクトなども実施して広く芸術に親しむ機会とした。

関連事業：

- ・ギャラリートーク
 - ① 8月8日(土) 13時30分～
講師：久慈伸一（当館専門学芸員） 参加者：15名
 - ② 8月15日(土) 13時30分～
講師：伊藤匡（当館学芸課長） 参加者：15名
 - ③ 9月12日(土) 13時30分～
講師：早川博明（当館館長） 参加者：30名
 - ④ 9月19日(土) 13時30分～
講師：久慈伸一（当館専門学芸員） 参加者：30名
- ・ミュージアム・コンサート

「夏の夕べのコンサート シターの典雅な響き」

日時：8月8日(土) 18時～
会場：福島県文化センター2階展示室
主催：NPO法人福島県立美術館協力会、
福島県立美術館友の会、福島県立美術館
演奏：中川啓子氏（シター奏者） 参加者：30名

- ・「福島のごえ」公開制作および発表会
 - 日時：9月21日(月) 10時30分～
 - 会場：福島県文化センター大ホール
 - 後援：福島県合唱連盟
 - 出演：タグチヒトシ氏（演出・作詞）、
畑中正人氏（作曲・サウンドデザイン）、
佐藤一成氏（声楽家・指揮）
 - 参加者：60名 聴衆：140名



第1部「ルオー版画集ミセレーレ全作品」展示風景



第2部「20世紀ヨーロッパ版画の名作」展示風景



「東日本大震災文化財救援活動報告展」展示風景



ギャラリートーク (9/12)



「福島のこえ」公開制作および発表会 (9/21)

◆出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/材質・技法/寸法 (cm)]

【第1部 ルオー版画集ミセレーレ全作品】

- 1 / ジョルジュ・ルオー / 神よ、我を憐れみたまえ、御身の大きいなる慈悲によりて / 1923 / 紙・銅版 / 57.4 × 41.9
- 2 / ジョルジュ・ルオー / 辱められるキリスト…… / 1922 / 紙・銅版 / 54.6 × 40.0
- 3 / ジョルジュ・ルオー / 絶えまなく笞打たれ…… / 1922 / 紙・銅版 / 48.5 × 36.8
- 4 / ジョルジュ・ルオー / 不幸の乞食は、御身の心の中に身を避ける / 1922 / 紙・銅版 / 48.3 × 37.1
- 5 / ジョルジュ・ルオー / 畏と悪意のこの世にただ独り / 1922 / 紙・銅版 / 58.0 × 41.5
- 6 / ジョルジュ・ルオー / 我らは苦役囚ではないのか / 1926 / 紙・銅版 / 59.0 × 43.0
- 7 / ジョルジュ・ルオー / 我ら自らを王と思い / 1923 / 紙・銅版 / 58.6 × 41.9
- 8 / ジョルジュ・ルオー / 顔に皺を描かぬ者はいようか？ / 1923年 / 紙・銅版 / 56.6 × 42.8
- 9 / ジョルジュ・ルオー / 時には道は美し…… / 1922 / 紙・銅版 / 37.5 × 50.8
- 10 / ジョルジュ・ルオー / 長き苦悩の古き場末にて / 1923 / 紙・銅版 / 56.8 × 42.0
- 11 / ジョルジュ・ルオー / 明日は晴れるだろう、難破した者は、そう言った / 1922 / 紙・銅版 / 50.5 × 35.6
- 12 / ジョルジュ・ルオー / 生きるとは辛き業…… / 1922 / 紙・銅版 / 47.7 × 35.9
- 13 / ジョルジュ・ルオー / 愛すれば心嬉しきに / 1923 / 紙・銅版 / 57.2 × 41.2
- 14 / ジョルジュ・ルオー / 人呼んで快樂の娘 / 1922 / 紙・銅版 / 51.2 × 36.9

- 15 / ジョルジュ・ルオー / 若かりし唇に苦き味 / 1922 / 紙・銅版 / 50.4 × 35.2
- 16 / ジョルジュ・ルオー / 山の手の夫人は、天国に予約席ありと思う / 1921 / 紙・銅版 / 56.9 × 41.1
- 17 / ジョルジュ・ルオー / 解放された女は十四時に正午を歌う / 1923 / 紙・銅版 / 56.0 × 43.2
- 18 / ジョルジュ・ルオー / 罪を宣告された者は立去った…… / 1922 / 紙・銅版 / 50.3 × 34.4
- 19 / ジョルジュ・ルオー / 弁護士は空ざらしい言葉で彼に悪意なしと主張する…… / 1922 / 紙・銅版 / 53.8 × 40.8
- 20 / ジョルジュ・ルオー / 見捨てられた十字架のイエスの下で / 1926 / 紙・銅版 / 57.9 × 41.4
- 21 / ジョルジュ・ルオー / 〈虐待され辱められたれど、彼は口を開かざりき〉 / 1923 / 紙・銅版 / 58.1 × 41.2
- 22 / ジョルジュ・ルオー / 世は様々なれど、荒地に種蒔くは美しき仕事 / 1923 / 紙・銅版 / 58.9 × 43.0
- 23 / ジョルジュ・ルオー / 「孤独者」通り / 1922 / 紙・銅版 / 40.4 × 50.7
- 24 / ジョルジュ・ルオー / 〈冬、大地の癩〉 / 1922 / 紙・銅版 / 51.2 × 36.2
- 25 / ジョルジュ・ルオー / ジャン・フランソワは決してハレルヤを歌わず…… / 1923 / 紙・銅版 / 58.7 × 42.2
- 26 / ジョルジュ・ルオー / 渇きと怖れの国で / 1923 / 紙・銅版 / 40.8 × 58.2
- 27 / ジョルジュ・ルオー / 物に涙あり…… / 1926 / 紙・銅版 / 59.2 × 41.7
- 28 / ジョルジュ・ルオー / 〈我を信ずる者は死すとも生きん〉 / 1923 / 紙・銅版 / 57.2 × 43.7
- 29 / ジョルジュ・ルオー / 朝の祈りを歌えよ、日は甦える / 1922 / 紙・銅版 / 51.0 × 36.6
- 30 / ジョルジュ・ルオー / 〈我ら……彼の死において、洗礼を受けたり〉 / 不詳 / 紙・銅版 / 54.4 × 42.0
- 31 / ジョルジュ・ルオー / 〈汝ら、互いに愛し合うべし〉 / 1923 / 紙・銅版 / 58.8 × 42.2
- 32 / ジョルジュ・ルオー / 主よ、御身なり、我は御身を認む / 1927 / 紙・銅版 / 57.1 × 44.7
- 33 / ジョルジュ・ルオー / 柔らかき布を持てるヴェロニカは、なおも道を行く…… / 1924 / 紙・銅版 / 43.2 × 42.8
- 34 / ジョルジュ・ルオー / 〈廢墟すら亡びたり〉 / 1926 / 紙・銅版 / 57.9 × 44.7
- 35 / ジョルジュ・ルオー / 〈イエスは苦しまん、世の終わりに至るまで……〉 / 1922 / 紙・銅版 / 58.2 × 40.7
- 36 / ジョルジュ・ルオー / これでお終いだよ、おやじさん！ / 1927 / 紙・銅版 / 59.2 × 43.0
- 37 / ジョルジュ・ルオー / 人は人にとって狼 / 1926 / 紙・銅版 / 58.3 × 41.7
- 38 / ジョルジュ・ルオー / シナ人が火薬を発明し、私たちに贈ってくれたと言ふ / 1926 / 紙・銅版 / 57.4 × 41.5
- 39 / ジョルジュ・ルオー / われわれはみな愚かもの…… / 1922 / 紙・銅版 / 57.0 × 41.3
- 40 / ジョルジュ・ルオー / 顔つき合わせ / 1926 / 紙・銅版 / 57.4 × 43.7
- 41 / ジョルジュ・ルオー / 占う人たち…… / 1923 / 紙・銅版 / 50.8

- × 43.8
- 42 / ジョルジュ・ルオー / 母たちに忌み嫌われる戦争 / 1927 / 紙・銅版 / 58.6 × 44.0
- 43 / ジョルジュ・ルオー / 〈我らは死すべきもの、我らも我らの仲間すべても〉 / 1922 / 紙・銅版 / 51.2 × 36.3
- 44 / ジョルジュ・ルオー / 我がうるわしの国、今いずこ / 1927 / 紙・銅版 / 42.1 × 59.6
- 45 / ジョルジュ・ルオー / 死は彼らを奪いぬ、いら草の床より出でしとき / 1922 / 紙・銅版 / 53.5 × 33.1
- 46 / ジョルジュ・ルオー / 〈正しき人は白檀の木のごとく己れを打つ斧に香を移す〉 / 1926 / 紙・銅版 / 58.4 × 42.0
- 47 / ジョルジュ・ルオー / 深き淵より…… / 1927 / 紙・銅版 / 43.1 × 59.5
- 48 / ジョルジュ・ルオー / 压榨機で葡萄は潰された / 1922 / 紙・銅版 / 39.5 × 48.5
- 49 / ジョルジュ・ルオー / 〈心気高ければ、首筋強張らず〉 / 1926 / 紙・銅版 / 58.5 × 42.2
- 50 / ジョルジュ・ルオー / 〈爪と嘴にて〉 / 1926 / 紙・銅版 / 57.7 × 44.5
- 51 / ジョルジュ・ルオー / ランスの微笑みからは程遠く / 1922 / 紙・銅版 / 51.2 × 38.6
- 52 / ジョルジュ・ルオー / 法は苛酷、されど法 / 1926 / 紙・銅版 / 57.5 × 43.5
- 53 / ジョルジュ・ルオー / 七剣の悲しみを負う聖母 / 1926 / 紙・銅版 / 57.9 × 40.7
- 54 / ジョルジュ・ルオー / 〈死者よ起て!〉 / 1927 / 紙・銅版 / 59.0 × 44.5
- 55 / ジョルジュ・ルオー / 盲人も、時に目明きを慰めた / 1926 / 紙・銅版 / 58.5 × 43.8
- 56 / ジョルジュ・ルオー / 高慢と無信仰のこの暗き時代に、地の果てより聖母は見守る / 1927 / 紙・銅版 / 58.9 × 43.9
- 57 / ジョルジュ・ルオー / 〈死に至るまで、そして十字架上の死に至るまで従順なる〉 / 1926 / 紙・銅版 / 58.0 × 42.2
- 58 / ジョルジュ・ルオー / 〈我らが癒やされたるは、彼の打傷によりてなり〉 / 1922 / 紙・銅版 / 58.0 × 47.2
- 【第2部 20世紀ヨーロッパ版画の名作】**
- 1 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (1) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 2 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (2) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 3 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (3) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 4 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (4) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 5 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (5) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 6 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (6) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 7 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (7) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 8 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (8) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 9 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (9) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 10 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出 (10) / 1958 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 34.7 × 26.7
- 11 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (1) 扉: 見世物小屋の呼び込み / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.4 × 19.7
- 12 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (2) 黒いピエロ / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.3 × 20.5
- 13 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (3) 苦いレモン / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.9 × 21.1
- 14 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (4) こびと / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.6 × 20.9
- 15 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (5) 曲芸師 / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 31.1 × 20.5
- 16 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (6) 小さな女曲芸師 / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.2 × 20.8
- 17 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (7) ルイゾン夫人 / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.6 × 21.0
- 18 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (8) 悲しげな瘦った骨 / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 31.0 × 20.4
- 19 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (9) カルメンシータ夫人 / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.6 × 20.8
- 20 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (10) 親代々の旅芸人 / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.4 × 20.3
- 21 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (11) アーサー親方 / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.3 × 20.5
- 22 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (12) 苦い甘さ / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.5 × 20.6
- 23 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (13) 気むずかし屋 / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 31.4 × 20.6
- 24 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (14) ピエロ / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.6 × 20.8
- 25 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (15) バレリーナたち / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.7 × 20.0
- 26 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (16) オーギュスト / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.9 × 21.3
- 27 / ジョルジュ・ルオー / 流れる星のサーカス (17) 眠れ、よい子よ / 1934-38 / 紙・銅版 (エッチング・アクアティント) / 30.7 × 21.4
- 28 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (1) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 26.1 × 33.6
- 29 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (2) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 25.8 × 33.6
- 30 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (3) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 26.0 × 34.3
- 31 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (4) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 26.5 × 35.0
- 32 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (5) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 25.9 × 34.8

- 33 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (6) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 25.9 × 34.7
- 34 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (7) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 32.1 × 42.8
- 35 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (8) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 32.1 × 42.6
- 36 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (9) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 28.3 × 37.0
- 37 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (10) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 27.1 × 36.2
- 38 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (11) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 27.8 × 36.4
- 39 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (12) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 28.5 × 37.5
- 40 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (13) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 27.5 × 36.7
- 41 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (14) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 27.4 × 36.5
- 42 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (15) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 27.5 × 36.5
- 43 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (16) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 27.4 × 39.8
- 44 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (17) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 27.3 × 37.3
- 45 / パブロ・ピカソ / 二人の裸婦 (18) / 1945-46 / 紙・リトグラフ / 32.4 × 42.9
- 46 / マックス・エルンスト / 博物誌 (1) 海と雨 / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.0 × 26.5
- 47 / マックス・エルンスト / 博物誌 (2) 一瞥 / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.1 × 26.8
- 48 / マックス・エルンスト / 博物誌 (3) 地球を囲む小さなテーブル / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.0 × 26.2
- 49 / マックス・エルンスト / 博物誌 (4) 雪の結晶模様のショール / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.1 × 26.3
- 50 / マックス・エルンスト / 博物誌 (5) 地震 / 1926 / 紙・コロタイプ / 42.9 × 26.2
- 51 / マックス・エルンスト / 博物誌 (6) パンパ / 1926 / 紙・コロタイプ / 26.1 × 36.1
- 52 / マックス・エルンスト / 博物誌 (7) 彼ははるかかなたに落ちていくだろう / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.1 × 25.7
- 53 / マックス・エルンスト / 博物誌 (8) 誤った位置 / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.1 × 25.9
- 54 / マックス・エルンスト / 博物誌 (9) 信頼 / 1926 / 紙・コロタイプ / 42.9 × 25.9
- 55 / マックス・エルンスト / 博物誌 (10) 彼女は秘密を隠しもっている / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.2 × 26.3
- 56 / マックス・エルンスト / 博物誌 (11) 鞭もしくは火山岩の紐で打つ / 1926 / 紙・コロタイプ / 26.1 × 43.1
- 57 / マックス・エルンスト / 博物誌 (12) 戦場、洪水、地震の植物 / 1926 / 紙・コロタイプ / 26.0 × 42.8
- 58 / マックス・エルンスト / 博物誌 (13) 案山子 / 1926 / 紙・コロタイプ / 25.9 × 43.0
- 59 / マックス・エルンスト / 博物誌 (14) 栗の木のスタート / 1926 / 紙・コロタイプ / 25.8 × 43.0
- 60 / マックス・エルンスト / 博物誌 (15) 傷跡 / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.0 × 26.3
- 61 / マックス・エルンスト / 博物誌 (16) 菩提樹は従順である / 1926 / 紙・コロタイプ / 25.8 × 43.0
- 62 / マックス・エルンスト / 博物誌 (17) 魅惑的な糸杉 / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.0 × 26.0
- 63 / マックス・エルンスト / 博物誌 (18) 木の葉の習性 / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.3 × 26.1
- 64 / マックス・エルンスト / 博物誌 (19) 偶像 / 1926 / 紙・コロタイプ / 42.9 × 25.9
- 65 / マックス・エルンスト / 博物誌 (20) シーザーのパレット / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.0 × 26.0
- 66 / マックス・エルンスト / 博物誌 (21) 壁を削っている / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.1 × 26.2
- 67 / マックス・エルンスト / 博物誌 (22) 大陸に足を踏み入れろ / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.0 × 26.3
- 68 / マックス・エルンスト / 博物誌 (23) 予防接種を受けたパン / 1926 / 紙・コロタイプ / 42.9 × 25.8
- 69 / マックス・エルンスト / 博物誌 (24) 14歳以下の稲妻 / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.1 × 26.0
- 70 / マックス・エルンスト / 博物誌 (25) ダイヤモンド婚 / 1926 / 紙・コロタイプ / 42.9 × 25.8
- 71 / マックス・エルンスト / 博物誌 (26) 振り子時計の起源 / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.2 × 26.3
- 72 / マックス・エルンスト / 博物誌 (27) スフィンクスの馬小屋にて / 1926 / 紙・コロタイプ / 26.1 × 43.1
- 73 / マックス・エルンスト / 博物誌 (28) 死の食事 / 1926 / 紙・コロタイプ / 25.8 × 43.1
- 74 / マックス・エルンスト / 博物誌 (29) 光の輪 / 1926 / 紙・コロタイプ / 26.2 × 43.3
- 75 / マックス・エルンスト / 博物誌 (30) 脱走者 / 1926 / 紙・コロタイプ / 26.0 × 42.7
- 76 / マックス・エルンスト / 博物誌 (31) 太陽の通貨制度 / 1926 / 紙・コロタイプ / 40.4 × 26.1
- 77 / マックス・エルンスト / 博物誌 (32) すべてを忘れてしまうほど / 1926 / 紙・コロタイプ / 26.3 × 43.1
- 78 / マックス・エルンスト / 博物誌 (33) 種馬と風の花嫁 / 1926 / 紙・コロタイプ / 26.1 × 42.9
- 79 / マックス・エルンスト / 博物誌 (34) イヴ、我々に残された唯一の女 / 1926 / 紙・コロタイプ / 43.1 × 26.2

ウ 「美術史を彩る名画の旅 —福島県立美術館名品展—」



A4 チラシ

会期：平成 27 年 10 月 16 日(土)～ 11 月 23 日(月・祝)
会場：須賀川市立博物館（須賀川市池上町 6）
開館時間：9 時～ 17 時 ※ 11 月 14 日は 20 時まで開館
休館日：毎週月曜日、11 月 4 日(休)
展示作品：68 点
観覧料：大人 200(150) 円、大学・高校生 100(70) 円、
中学生以下・65 歳以上・障がい者で手帳をお持ちの方
は無料 ※ () 内は 20 名以上の団体料金
観覧者数：5,128 名
担当：増淵鏡子、坂本篤史

主催：須賀川市立博物館、福島県立美術館

概要：

モネ、ピサロ、ルノワール、ワイエス、ベン・シャーンなどのフランス、アメリカ絵画から、関根正二、岸田劉生、安井曾太郎、速水御舟、村上華岳らの日本近代絵画まで、美術の教科書や画集を彩ってきた 35 名の巨匠たちの作品約 70 点を通して、当館コレクションの魅力に迫った。

関連事業：

- ・ 県立美術館長 早川博明によるギャラリートーク
日時：10 月 17 日(土) 14 時～ 参加者：70 名
- ・ 県立美術館学芸員 坂本篤史によるギャラリートーク
日時：11 月 14 日(土) 14 時～ 参加者：40 名
- ・ 視覚障がい者のための鑑賞ワークショップ
「福島の洋画家 関根正二の幻想的な世界を鑑賞しよう」
日時：11 月 22 日(日) 10 時 30 分～、14 時～
解説：真下弥生氏（ルーテル学院大学非常勤講師）、
半田こずえ氏（明治学院大学非常勤講師）
参加者：20 名



展示風景



ギャラリートーク（10/17）



ギャラリートーク（11/14）



視覚障がい者のための鑑賞ワークショップ（11/22）

◆出品リスト (*は河野保雄コレクション) :

[No./作品名/制作年/材質・技法など/寸法 (cm)]

- *1 / 青木 繁 / 漁夫晚帰 (下図) / 1908 / カンヴァス・油彩 / 14.7 × 31.4
- *2 / 小出楯重 / 大和岡寺の辺にて / 1913 / 板・油彩 / 14.4 × 21.5
- *3 / 井上長三郎 / ドン・キホーテ / 不詳 / カンヴァス・油彩 / 41.1 × 31.8
- *4 / 長谷川利行 / ムーランルージュの踊り子 / 1936 / 紙・油彩 / 32.0 × 22.4
- *5 / 藤島武二 / 夜の黄浦江 / 1941 頃 / 板・油彩 / 24.0 × 33.1
- *6 / 竹久夢二 / 『山へよする』より「表紙」 / 1919 / 紙・木版 / 14.8 × 9.5
- *7 / 竹久夢二 / 『山へよする』より「KAWAZIN」 / 1919 / 紙・木版 / 9.5 × 8.2
- *8 / 竹久夢二 / 花火 (『婦人グラフ』8月号表紙) / 1924 / 紙・木版 / 18.6 × 20.1
- *9 / 竹久夢二 / 雪の風 (『婦人グラフ』12月号表紙) / 1924 / 紙・木版 / 16.2 × 21.1
- *10 / 竹久夢二 / 雪の夜の伝説 (『婦人グラフ』口絵) / 1926 / 紙・木版 / 22.0 × 16.5
- *11 / 桂 ゆき / ブドウとキツネ / 不詳 / ガラス・油彩 / 13.3 × 17.6
- *12 / 桂 ゆき / ゴンベとカラス / 不詳 / ガラス・油彩 / 11.2 × 16.3
- *13 / 鶴岡政男 / 凝視 / 1953 / ガラス・油彩 / 24.1 × 18.0
- *14 / 鶴岡政男 / 陽気な小鳥 / 1954 / ガラス・油彩 / 12.2 × 10.0
- *15 / 清宮質文 / 夜明け / 不詳 / ガラス・油彩 / 12.2 × 17.0
- *16 / 川上澄生 / 女二人 / 不詳 / ガラス・油彩 / 7.7 × 7.7
- 17 / 岸田劉生 / 自画像 / 1914 / カンヴァス・油彩 / 45.7 × 38.3
- 18 / 岸田劉生 / 静物 (白き花瓶と台皿と林檎四個) / 1918 / カンヴァス・油彩 / 45.5 × 53.0
- 19 / 関根正二 / 自画像 / 1918 / カンヴァス・油彩 / 53.0 × 41.0
- 20 / 関根正二 / 信仰 / 1918 / 紙・インク、クレヨン / 18.3 × 15.5
- 21 / 関根正二 / 神の祈り / 1918 頃 / カンヴァス・油彩 / 68.1 × 40.8
- 22 / 安井曾太郎 / ターブルの上 / 1912 / カンヴァス・油彩 / 46.2 × 55.1
- 23 / 野田英夫 / 牛乳ワゴン / 1936 / カンヴァス・油彩 / 51.5 × 61.1
- 24 / 松本竣介 / 駅 / 1942 / 板・油彩 / 38.0 × 45.6
- *25 / 岸田劉生 / 白狗図 / 1923 / 絹本着色 / 33.4 × 42.6
- 26 / 下村観山 / 寒空 / 1923 / 絹本着色 軸 / 44.0 × 94.0
- 27 / 村上華岳 / 早春風景 / 1919 頃 / 絹本着色 軸 / 43.5 × 30.5
- 28 / 山口華楊 / 畑 / 1925 / 絹本着色 屏風二曲一隻 / 181.2 × 145.2
- 29 / 斎藤 清 / 凝視 (猫) / 1948 / 紙・木版 / 75.4 × 41.6
- 30 / 斎藤 清 / 稔りの会津 (2) / 1975 / 紙・木版 / 45.9 × 60.5
- 31 / 浜田知明 / 初年兵哀歌 (歩哨) / 1954 / 紙・銅版 / 23.2 × 15.7
- 32 / 浜口陽三 / 14 のさくらんぼ / 1963 / 紙・銅版 / 52.3 × 24.3
- 33 / 長谷川潔 / 狐と葡萄 (ラ・フォンテーヌ寓話) / 1963 / 紙・銅版 / 36.0 × 26.8
- 34 / 長谷川潔 / メキシコの鳩 / 1966 / 紙・銅版 / 26.7 × 35.7
- 35 / 桂 ゆき / 親亀の背中に子亀を乗せて / 1970 / 紙・油彩、コラージュ / 130.3 × 89.2
- 36 / 吉井 忠 / 寓話 / 1966 / カンヴァス・油彩 / 130.4 × 162.2
- 37 / 斎藤義重 / 作品 13 / 1961 / 板・油彩 / 155.3 × 121.1 × 4.5
- 38 / 速水御舟 / 女二題 其一 / 1931 / 絹本着色 / 138.2 × 114.7
- 39 / 速水御舟 / 女二題 其二 / 1931 / 絹本着色 / 136.8 × 115.0
- 40 / 福田豊四郎 / ふるさとへ帰る / 1964 / 紙本着色 屏風四曲一隻 / 181.5 × 247.0
- 41 / マルク・シャガール / 死せる魂 (3) 小さな町 / 1923-25 / 紙・銅版 / 22.2 × 28.7
- 42 / マルク・シャガール / 死せる魂 (10) マニーロフ邸の食事 / 1923-25 / 紙・銅版 / 22.1 × 28.7
- 43 / マルク・シャガール / 死せる魂 (12) マニーロフにいとまを告げるチーチコフ / 1923-25 / 紙・銅版 / 22.7 × 29.5
- 44 / マルク・シャガール / 死せる魂 (24) トランプ / 1923-25 / 紙・銅版 / 22.0 × 28.6
- 45 / マルク・シャガール / 死せる魂 (30) チーチコフの夢 / 1923-25 / 紙・銅版 / 28.1 × 21.4
- 46 / マルク・シャガール / 死せる魂 (35) 支度のできた食卓 / 1923-25 / 紙・銅版 / 27.8 × 21.3
- 47 / マルク・シャガール / 死せる魂 (37) チーチコフとサバケーヴィチは取引をする / 1923-25 / 紙・銅版 / 21.5 × 27.9
- 48 / マルク・シャガール / 死せる魂 (45) 橋の下で拾い集めるブリューシキン / 1923-25 / 紙・銅版 / 27.8 × 21.3
- 49 / マルク・シャガール / 死せる魂 (51) ゴーゴリとシャガール / 1923-25 / 紙・銅版 / 27.6 × 21.2
- 50 / マルク・シャガール / 死せる魂 (58) 行けども行けども果てしなしのグリゴーリィ / 1923-25 / 紙・銅版 / 22.1 × 28.6
- 51 / マルク・シャガール / 死せる魂 (66) 証人たち / 1923-25 / 紙・銅版 / 21.8 × 27.5
- 52 / マルク・シャガール / 死せる魂 (73) 舞踏会にあらわれたチーチコフ / 1923-25 / 紙・銅版 / 22.0 × 27.8
- 53 / マルク・シャガール / 死せる魂 (79) 酒宴はつかみあいに終わる / 1923-25 / 紙・銅版 / 23.5 × 27.8
- 54 / マルク・シャガール / 死せる魂 (83) コペイキン大尉かナポレオンか / 1923-25 / 紙・銅版 / 27.8 × 21.0
- 55 / マルク・シャガール / 死せる魂 (93) 教会にて / 1923-25 / 紙・銅版 / 27.7 × 21.2
- 56 / マルク・シャガール / 死せる魂 (96) 夕暮れのトロイカ / 1923-25 / 紙・銅版 / 21.2 × 27.7
- 57 / ピエール＝オーギュスト・ルノワール / 帽子を被る女 / 不詳 / カンヴァス・油彩 / 30.0 × 25.5
- 58 / カミュー・コロー・ヴィル・ダヴレーー / 林をぬけてコロエ家へ向かう池沿いの道 / 1873 / カンヴァス・油彩 / 50.0 × 65.3
- 59 / クロード・モネ / ジヴェルニーの草原 / 1890 / カンヴァス・油彩 / 65.1 × 92.4
- 60 / カミュー・ピサロ / エラニーの菜園 / 1899 / カンヴァス・油彩 / 73.0 × 92.0
- 61 / ジョルジュ・ルオー / 超人 / 1916 / 紙・油彩 / 104.3 × 74.0
- 62 / アンドリュー・ワイエス / 松ぼっくり男爵 / 1976 / 板・テンペラ / 80.0 × 84.5
- 63 / ベン・シャーン / ラッキードラゴン / 1960 / 綿布・テンペラ / 214.5 × 122.0
- 64 / 小関庄太郎 / 夕照 / 1938 / ゼラチン・シルバー・プリント / 22.4 × 19.4
- 65 / 小関庄太郎 / 須賀川松明あかし / 1998 / ゼラチン・シルバー・プリント / 28.0 × 42.0
- 66 / 小関庄太郎 / 二人像 / 1932 / ゼラチン・シルバー・プリント / 24.7 × 20.5
- 67 / 小関庄太郎 / 二重肖像 / 1935 / ゼラチン・シルバー・プリント / 26.9 × 22.4
- 68 / 小関庄太郎 / 遠い汽車 / 1941 / ゼラチン・シルバー・プリント / 29.8 × 25.0

エ 「ふるさとが誇る美術家たち —福島県立美術館名品展—」



A4 チラシ

会期：平成 28 年 1 月 19 日(土)～2 月 21 日(日)
会場：大山忠作美術館、市民ギャラリー
（二本松市本町 2-3-1 二本松市市民交流センター 3F）
開館時間：9 時 30 分～17 時
休館日：毎週月曜日
展示作品：44 点
観覧料：大人 410(300) 円、高校生以下 200(150) 円
※ () 内は 20 名以上の団体料金
観覧者数：1,041 名
担当：荒木康子、白木ゆう美

主催：福島県立美術館、二本松市教育委員会

概要：

二本松市合併 10 周年を記念し、二本松を中心に県出身、ゆかりの作家たちの作品を展覧した。二本松市に生まれた日本画家・大山忠作は、東京藝術大学で日本画を学んだ後、日展で活躍。2006 年に文化勲章を受章している。本展では県立美術館が収蔵する 7 点の作品とともに、大山忠作美術館が収蔵する習作を展示し、その創作の軌跡を紹介した。さらに、橋本高昇、橋本朝秀、橋本堅太郎、荻生天泉や石川良風、そして古川盛雄など二本松ゆかりの作家たちの作品。あるいは角田磐谷や斎藤清による福島の風景などを併せて展示した。

関連事業：

・ギャラリートーク

- ① 1 月 23 日(土) 13 時 30 分～
講師：早川博明（当館館長）
参加者：50 名
- ② 2 月 6 日(土) 13 時 30 分～
講師：荒木康子（当館専門学芸員）、
白木ゆう美（当館学芸員）
参加者：50 名



展示風景（大山忠作美術館）



展示風景（市民ギャラリー）



ギャラリートーク（1/23）

◆出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/材質・技法/寸法 (cm)]

【大山忠作美術館 第1展示室】

- 1 / 大山忠作 / O先生 / 1946(昭和21) / 紙本着色 / 209.8 × 152.4
 2 / 大山忠作 / 室内 / 1950(昭和25) / 紙本着色 / 171.9 × 132.0
 3 / 大山忠作 / 幼童曼陀羅 / 1967(昭和42) / 紙本着色 / 205.8 × 170.0
 4 / 大山忠作 / 岡潔先生像 / 1968(昭和43) / 紙・パステル / 54.5 × 37.4 / 大山忠作美術館蔵
 5 / 大山忠作 / 岡潔先生像 / 1968(昭和43) / 紙本着色 / 197.3 × 151.6
 6 / 大山忠作 / 母子像 / 1969(昭和44) / 紙本着色 / 212.5 × 151.6
 7 / 大山忠作 / 京舞 / 1977(昭和52) / 紙本着色 / 213.4 × 152.8
 8 / 大山忠作 / S子像 / 1980(昭和55) / 紙・パステル / 54.0 × 37.4 / 大山忠作美術館蔵
 9 / 大山忠作 / 爽涼 / 1980(昭和55) / 紙本着色 / 213.5 × 152.8
 10 / 勝田蕉琴 / 安らかなる鳥の巣 / 1921(大正10) / 絹本着色、屏風二曲一雙 / 各 169.0 × 169.5
 11 / 荻生天泉 / 花卉虫鳥類写生図巻 / 1921(大正10) / 紙本着色、卷子装(二巻) / 32.6 × 1486.3、32.4 × 1345.6
 12 / 荻生天泉 / 霊夢 / 1941(昭和16) / 絹本着色 / 195.4 × 143.9
 13 / 酒井三良 / 雪に埋もれつつ正月はゆく / 1919(大正8) / 絹本着色、屏風二曲一雙 / 171.1 × 172.8
 14 / 石川良風 / 晩秋 / 1977(昭和52) / 紙本着色 / 60.9 × 73.1
 15 / 會津勝巳 / 叢苑 / 1928(昭和3) / 紙本着色、屏風二曲一雙 / 182.0 × 223.6 / 寄託
 16 / 今井珠泉 / 穹 / 1972(昭和47) / 紙本着色 / 227.2 × 181.6
- 【大山忠作美術館 第2展示室】
- 17 / 角田磐谷 / 松川浦の夕月(新福島八景のうち一) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 18 / 角田磐谷 / 須賀川牡丹園(新福島八景のうち三) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 19 / 角田磐谷 / 雄国沼の夏(新福島八景のうち五) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 20 / 角田磐谷 / 矢祭山の晩秋(新福島八景のうち六) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 21 / 角田磐谷 / 白河南湖秋色(新福島八景のうち七) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 22 / 角田磐谷 / 岳温泉鏡沼(新福島八景のうち八) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 23 / 角田磐谷 / 大滝根の残雪(新福島十勝のうち三) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 24 / 角田磐谷 / 釣師浜の朝(新福島十勝のうち五) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 25 / 角田磐谷 / 磐梯檜原湖の朝(新福島十勝のうち六) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 26 / 角田磐谷 / 雨の霞が城跡(新福島十勝のうち八) / 1948(昭和23) / 絹本墨画 / 50.9 × 56.9
 27 / 角田磐谷 / 柳津虚空蔵残雪(新福島十勝のうち九) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.8
 28 / 角田磐谷 / 信夫山の桜(新福島十勝のうち十) / 1948(昭和23) / 絹本着色 / 50.8 × 56.9
 29 / 斎藤 清 / 会津の冬(御母堂) / 1938-40(昭和13-昭和15)頃 /

紙・木版 / 36.1 × 45.0

- 30 / 斎藤 清 / 会津の冬(1) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.4 × 52.8
 31 / 斎藤 清 / 会津の冬(51) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 38.0 × 51.9
 32 / 斎藤 清 / 会津の冬(85) 坂下町・宇内(4) / 1990(平成2) / 紙・木版 / 37.7 × 52.7
- 【市民ギャラリー】
- 33 / 石井柏亭 / 果樹園の午後 / 1928(昭和3) / カンヴァス・油彩 / 166.6 × 202.8
 34 / 古川盛雄 / 花を飾りて / 1957(昭和32) / カンヴァス・油彩 / 116.5 × 91.0
 35 / 松島一郎 / コック部屋 / 1930(昭和5) / カンヴァス・油彩 / 162.0 × 130.5
 36 / 高橋卯八 / 蛇の鼻風景 / 1928(昭和3) / カンヴァス・油彩 / 60.8 × 80.5 / 寄託
 37 / 吉井 忠 / あだたら山 / 1949(昭和24) / カンヴァス・油彩 / 65.2 × 80.5
 38 / 橋本高昇 / 白夜 / 1967(昭和42) / 木彫 / H75.7 × W105.3 × D31.6
 39 / 橋本高昇 / かもしか / 不詳 / 木・着色 / H56.4 × W35.8 × D10.4
 40 / 橋本朝秀 / 拈華 / 1959(昭和34) / 木・着色 / H187.1 × W47.5 × D50.0
 41 / 橋本朝秀 / 鶺鴒 / 不詳 / ブロンズ / H32.0 × W10.0 × D16.3
 42 / 橋本朝秀 / 仔犬 / 不詳 / 木彫 / H11.6 × W27.5 × D19.3 / 寄託
 43 / 橋本堅太郎 / 漂 / 1970(昭和45) / 木彫 / H114.1 × W26.8 × D31.5
 44 / 橋本堅太郎 / 慈光 / 2006(平成18) / 木彫 / H160 × W41 × D45

2 企画展

(1) 飛驒の円空 千光寺とその周辺の足跡



A4 チラシ

会期：平成 27 年 1 月 27 日(土)～ 4 月 5 日(日)

分野：仏像

展示数：43 点

観覧料：一般 1,000(800) 円、大学生 900(800) 円、高校生以下無料 * () 内は前売および 20 名以上の団体料金

観覧者数：35,055 名 (平成 27 年度 6,099 名)

担当：宮武 弘、久慈伸一、伊藤 匡

主催：飛驒の円空展開催実行委員会 (福島県立美術館、福島民友新聞社、飛驒千光寺)

特別協力：東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHK プロモーション、高山市、高山市教育委員会

後援：福島県仏教会、福島中央テレビ、福島市、福島市教育委員会、福島県市長会、福島県町村会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、ふくしま FM、TeNY テレビ新潟、ミヤギテレビ、RAB 青森放送、テレビ岩手、ABS 秋田放送

特別協賛：こころネットグループ、JA グループ福島

協賛：富士通、(公財) JKA

関連事業：

・関連展示「円空さんに手紙を書こう 応募作品展」

展示期間：3 月 14 日(土)～ 4 月 5 日(日)

会場：当館エントランスホール

概要：

江戸時代前期、美濃国 (現在の岐阜県) に生まれた僧、円空 (1632-1695) は、近畿から北海道まで諸国を巡って造仏修行に励み、各地に 5,000 体以上の仏像を残している。今回は円空ゆかりの飛驒・千光寺を中心に、岐阜県高山市所在の円空仏 100 体あまりを紹介した。

なお本展覧会は 2013 年 1 月 12 日～ 4 月 7 日まで東京国立博物館で開催された展示と同内容 (一部不出品あり)。東日本大震災復興支援として福島民友新聞社との実行委員会方式により開催された。

◆出品リスト：

[No./仏像名/軀数/作年/保有所]

- 1/両面宿儺坐像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 2/金剛力士 (仁王) 立像 吽形/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 3/寶頭盧尊者坐像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 4/歡喜天立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 5/三十三観音立像/31 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 6/菩薩立像 (神像)/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 7/地藏菩薩立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 8/不動明王像および二童子立像/3 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 9/弁財天坐像および二童子立像/3 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 10/十一面観音菩薩坐像および両脇侍立像/3 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 11/護法神立像/2 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 12/護法神立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 13/金剛童子立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 14/難陀龍王像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 15/跋難陀龍王像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 16/八大龍王像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 17/宇賀神像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 18/迦楼羅立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 19/迦楼羅 (烏天狗) 立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 20/狛犬/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 21/男神坐像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 22/如来坐像/3 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 23/円空像 大森旭亭筆/1 幅/江戸時代・文化 2 年 (1805)/岐阜・千光寺
- 24/袈裟山百首/1 冊/江戸時代・17 世紀/岐阜・千光寺
- 25/弁財天立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・飛驒国分寺
- 26/如意輪観音菩薩坐像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・東山白山神社
- 27/柿本人麿坐像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・東山神明神社
- 28/稲荷三神坐像 (男神形)/3 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・錦山神社
- 29/稲荷三尊坐像 (獣頭形)/3 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・錦山神社
- 30/不動明王立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・素玄寺
- 31/金剛神立像/2 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・飯山寺
- 32/愛染明王坐像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・靈泉寺
- 33/千手観音菩薩立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・清峰寺
- 34/聖観音菩薩立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・清峰寺
- 35/龍頭観音菩薩立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・清峰寺
- 36/薬師如来立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・板殿薬師堂
- 37/釈迦如来坐像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・板殿薬師堂
- 38/阿弥陀如来坐像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・板殿薬師堂
- 42/神像/12 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・神明神社
- 43/薬師如来坐像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・熊野神社
- 44/菩薩立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・熊野神社
- 45/僧形立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・熊野神社
- 46/僧形八幡神立像/1 軀/江戸時代・17 世紀/岐阜・弘誓寺

※No. 39,40,41 は不出品

美術館観覧者数一覧表

平成27年度観覧者数一覧

平成28年2月29日現在 (単位:人)

展覧会名	開催期間	有 料										無 料		観覧者総計		
		個 人					団 体					有 料 合 計	無 料・ 招 待 等			
		一般・大 学生・ 高校生	小 計	一般・大 学生	大學生・ 高校生	小 計	割引券	前売券	ローンび ら当日券	一般・大 学生	高 校 生				小・中 学 生	小 計
第I期～第IV期 移動美術館 ※合計に含めず 1. 福島県立博物館(5/2～6/21) 2. 福島県文化センター(8/7～20、9/9～24) 3. 須賀川市立博物館(10/16～11/23) 4. 大山忠作美術館、市民ギャラリー(1/19～2/21) 企画観覧券で常設展を鑑覧	5日間 44日間 30日間 33日間 29日間 通年	25 5,992 1,318 770	25 5,992 1,345 810	0 45 41	0 45 41	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	14 14	14 14	39 5,992 1,390 851	130 3,051 3,738 190 2,330	169 5,992 3,051 5,128 1,041 2,330	
常 設 展 免除者(100/100) 学校教育活動 免除者(100/100) 学校引率者 免除者(50/100) 県又は市町村主催 常設無料入館 (こどもの日) " (県民の日) " (敬老の日) " (文化の日) 小・高校生無料入館 " " " "	5月5日 8月21日 9月20日 11月3日 通年 " " "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計		25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	2,590	2,629	
1 飛騨の円空展	4/1～4/5 5日間	3,379	3,401	51	51	397	1,231	13	38	38	38	38	5,131	968	6,099	
小 計		3,379	3,401	51	51	397	1,231	13	38	38	38	38	5,131	968	6,099	
教育普及事業、講演会、コンサート、シンポジウム 館長講座、博物館実習参加者、内覧会など															0	
小 計														0	0	
合 計		3,404	3,426	51	51	397	1,231	13	52	52	52	52	3,939	3,558	8,728	

第4節 調査研究事業

1 調査研究

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

平成27年度は、県内の美術品調査と、第二次世界大戦後に活躍した作家の調査を重点的に行った。

第5節 普及事業

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、美術館への年賀状展、学校と連携しての出張実技講座を行っている。

1 館内解説

当館では以下のような館内解説を行っている。

(1) 団体解説

当館では、解説を予め申し込んだ学校や公民館などの団体に対し、美術館の概要、鑑賞のマナー、代表的な収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

平成27年度（4月1日～5日）の団体総数は9団体294人である。

(2) 質問電話

展示室の各所に「質問電話」を設置し、展示品や美術全般についての観覧者からの質問に学芸員が直接応答するユニークなホットライン・サービスを行っている。

(3) 解説シート

常設展示室に展示中の作家・作品の解説シートを設置している。

2 実技教室

実技教室は、美術の本来的な創作の体験を通して、表現の喜びを味わい、美術についての理解を深めるための、子どもから大人まで、様々な年齢・対象に応じた実技・実習プログラムである。

一般対象向けには、日数をかけてじっくりと制作に取り組む「実技講座」、2日間で様々な表現技法を体験できる「技法講座」、気軽に一日でできる作品づくりを楽しめる「一日創作教室」がある。また、親子でコミュニケーションしながら創作を体験する「親と子の美術教室」、小学生が創作体験し美術に親しむ「わんぱくミュージアム」を開催している。

今年度は長期休館にともない福島市内の施設を会場として開催した。

(1) 実技講座

① 創作のための人体クロッキー

日時：平成27年9月27日(土) 10時～15時30分、10月3日(土)

13時30分～16時30分、4日(日) 10時～15時30分

講師：上田耕造氏（画家、アトリエ21 主宰）

会場：福島県文化センター1階会議室 参加者：5名



②西洋の古典絵画技法：モザイクの制作

日時：平成27年2月13日(土)、20日(土)、21日(日)

各10時～16時

講師：森 敏美氏（東北生活文化大学教授）

会場：福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4 参加者：7名



②スクラッチボードによる表現

日時：平成27年11月15日(日) 10時～16時

講師：久慈伸一（当館専門学芸員）

会場：福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4 参加者：7名



(2) 技法講座

①西洋古典絵画に見るデッサンの画材と技法

日時：平成27年6月27日(土) 10時30分～16時30分、

28日(日) 10時～15時30分

講師：三浦明範氏（武蔵野美術大学教授）

会場：福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4 参加者：9名



(4) 親子の美術教室

①親子で作ろう！カラフルクレヨン

日時：平成27年5月5日(火) 10時～15時

講師：小原典子氏（美術家）

会場：福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

参加者：小学生の親子5組10名



②～ボックスアート～「ふしぎな世界の入り口」

日時：平成28年1月30日(土)、31日(日)

各10時～15時30分

講師：酒井賢司氏（イラストレーター、グラフィックデザイナー）

会場：福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4 参加者：14名



②親子でつくろう！アートなスイーツ

日時：平成27年8月29日(土) 10時～15時

講師：森 愛子氏（造形作家）

会場：福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4

参加者：小学生の親子5組12名



(3) 一日創作教室

①光・色に触発されたイメージを描く

日時：平成27年5月24日(日) 10時～16時

講師：久慈伸一（当館専門学芸員）

会場：福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4 参加者：3名



(5) わんぱくミュージアム

①夏休み、工作大作戦！

日時：平成27年7月25日(土) <午前の部> 10時～15時、

<午後の部> 13時～15時

講師：國島 敏（当館主任学芸員）

会場：福島市A・O・Z（アオウゼ）大活動室4 参加者：7名



②くるくる・ゆらゆらモビールをつくろう！

日時：平成27年10月31日(土) <午前の部> 10時～12時、
<午後の部> 13時～15時

講師：白木ゆう美(当館学芸員)

会場：福島市A・O・Z(アオウゼ)大活動室4 参加者：4名



③ちょっと大きなスノードームをつくろう！

日時：平成27年12月20日(土) <午前の部> 10時～12時、
<午後の部> 13時～15時

講師：國島 敏(当館主任学芸員)

会場：福島市A・O・Z(アオウゼ)大活動室4 参加者：5名



3 美術館・学校教育連携事業

学校週5日制が開始されることを契機に、平成13年12月～平成15年2月にかけて県内の小、中、高校の教師と学校・美術館をとりまく現状や問題点を情報交換し、継続的な連携活動ができる密接な関係を築くため「美術館・学校教育連携協議会」を開催した。協議での学校からの要望をもとに以下の事業を行った。

(1) 先生のための美術館入門

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開講する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。今年度は、県立博物館における移動展示「ふるさと会津の人と四季」展において開催した。

日時：平成27年6月16日(火)

参加者：小学校教諭4名、中学校教諭6名、高校教諭1名

(2) 学校連携共同ワークショップ

平成15年度より開催する連携事業で、こどもたちが作家と触れ合う生の機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心とした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通してこどもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域のニーズに対応を図っている。

今年度は「おとなりアーティスト」をテーマに幼稚園・小・

中・高校合わせて12校で開催した。ワークショップ作品は平成28年1月5日(火)～11日(月)の期間、福島市A・O・Z(アオウゼ)にて活動中のスナップ写真とあわせて展示した。

ア ごみりのべ(Waste Renovation) not RE CYCLE but NEW CYCLE! ～リサイクルじゃない新しいサイクルを考えよう～

講師：アサノコウタ氏(建築家)

①県立いわき総合高校 参加者：18名

日時：平成27年9月19日(土)、10月3日(土)、12月1日(火)、15日(火)

②二本松市立塩沢幼稚園 参加者：9名

日時：10月21日(火)

③日本大学工学部建築学科建築研究会 参加者：11名

日時：12月26日(土)、27日(日)



いわき総合高校(10/3)

イ 大地のえのぐで絵をえがこう！

講師：佐藤 香氏(土絵作家)

①天栄村立天栄中学校 参加者：8名

日時：平成27年9月20日(日)

②会津美里町立高田中学校 参加者：111名

日時：9月25日(金)、28日(月)、10月5日(月)

③会津若松市立第一中学校 参加者：20名

日時：9月26日(土)、10月11日(日)、10月12日(月)、10月24日(土)

④いわき市立磐崎中学校 参加者：20名

日時：10月10日(土)

⑤県立いわき養護学校くぼた校 参加者：6名

日時：10月14日(火)

⑥福島市立森合小学校 参加者：112名

日時：10月23日(金)



磐崎中学校(10/10)



森合小学校 (10/23)

ウ つなげて、つくって、テキスタイル！

講師：坂内まゆ子氏（テキスタイル作家）

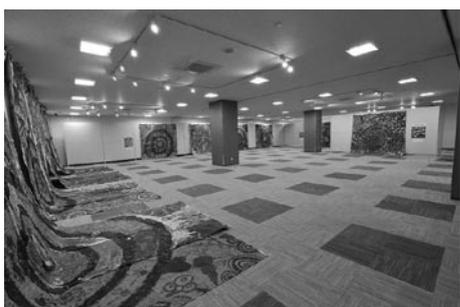
- ①本宮市立本宮まゆみ小学校 参加者：52名
日時：平成27年10月15日(木)、16日(金)
- ②学校法人堀内学園富岡幼稚園 参加者：18名
日時：10月20日(火)、22日(木)
- ③二本松市はらせ幼稚園 参加者：10名
日時：10月27日(火)
- ④認定こども園喜多方教会附属いずみ幼稚園 参加者：34名
日時：11月18日(木)、12月16日(木)



本宮まゆみ小学校 (10/16)



いずみ幼稚園 (11/18)



展示風景（福島市アオウゼ）

(3) アートカード検討会

当館アートカードは、県内の小学生から高校生及びその教職員が主な利用対象者となる。制作にあたって、学校現場の意見を取り入れていくため、県内の小、中、高等学校の教諭及び教育関係者と検討会を実施した。

検討会メンバー：

（学識経験者）

天形 健 福島大学教授
真柴 毅 元県立美術館学芸員
橋本淳也 元県立美術館学芸員
大町 亨 画家

（福島県教育庁指導主事） 太田隆明

（福島県教育センター指導主事） 星 博人

（高等学校教員）

羽根真実子 県立いわき総合高等学校
横田円佳 県立会津工業高等学校

（中学校教員）

丹野淳美 福島市立福島第四中学校
廣川 豪 会津美里町立高田中学校
野地恵美子 福島大学附属中学校
岡崎裕邦 福島市立信夫中学校

（小学校教員）

奥山陽介 桜の聖母学院小学校
紺野 律 福島市立森合小学校
八巻千咲 国見町立国見小学校

検討会の開催：

第1回 日時：平成27年6月13日(土)

内容：当館アートカード概要説明及び検討事項の確認
出席者：13名

第2回 日時：7月18日(土)

内容：先生方の自作アートカード実践報告（羽根先生・岡崎先生）、アートカードを作る意義についてなど
出席者：15名

第3回 日時：9月12日(土)

内容：先生方の自作アートカード実践報告（廣川先生）、アートカードへの意見要望など
出席者：11名

第4回 日時：10月17日(土)

内容：展覧会に併せたアートカード実践報告（真柴先生）
試作アートカード制作に向けての検討（造形要素、配色、作家出身地、ジャンルなどの確認）
出席者：10名

第5回 日時：11月14日(土)

内容：試作アートカード制作に向けての検討（作品テーマ、児童・生徒の好み、シリーズなどについて）
出席者：13名

第6回 日時：12月13日(日)

内容：試作アートカード制作に向けての検討（全体のバランス、作品シリーズの中からのセレクト、微調整）
出席者：14名

4 友の会、協力会との連携

(1) 友の会通常総会

日時：平成 27 年 5 月 31 日(日)

会場：美術館講義室 参加者：17 名

(2) 友の会美術映画鑑賞会

①「ヴァチカン美術館 3D 天国への入口」

(2013 年／イタリア／66 分)

日時：平成 27 年 4 月 18 日(土)

会場：福島フォーラム（福島市曾根田町 7-8）

解説：「ヴァチカン美術館と映画の見どころ」

坂本篤史（当館副主任学芸員） 参加者：70 名

②「ターナー、光に愛を求めて」

(2014 年／イギリス・フランス・ドイツ／150 分)

日時：平成 27 年 9 月 5 日(土)

会場：福島フォーラム

解説：「ターナーの生涯と画業について」

富岡進一氏（郡山市立美術館学芸員） 参加者：80 名

(3) 友の会実技講座

①カタチを変えて楽しめる絵を作る

日時：平成 27 年 11 月 7 日(土)

会場：当館実習室

講師：久慈伸一（当館専門学芸員） 参加者：7 名

(4) 友の会研修旅行

①宇都宮美術館「パウル・クレー展」と那珂川町馬頭広重美術館を訪ねる旅

日時：平成 27 年 8 月 29 日(土)

参加者：早川博明（当館館長）、伊藤 匡（当館学芸課長）、坂本篤史（当館副主任学芸員）ほか計 41 名

②海外美術館研修 パリの美術館を巡る 7 日間の旅

日時：平成 27 年 11 月 10 日(火)～16 日(月)

参加者：早川博明（当館館長）ほか計 19 名

(5) ミュージアム・コンサート

美術館、協力会、友の会の三者による共同開催。

「夏の夕べのコンサート シターの典雅な響き」

日時：平成 27 年 8 月 8 日(土)

会場：福島県文化センター 2 階展示室（参加無料）

演奏：中川啓子氏（シター奏者） 参加者：30 名



ミュージアム・コンサート (8/8)

5 その他の事業

(1) 文化財レスキュー事業

当館では平成 25 年 5 月 13 日より「福島県被災文化財等救援本部会議」の構成機関となり、県文化財課、県立博物館等と連携して被災文化財の救援活動にあたっている。

今年度は以下の活動に参加した。

①平成 27 年 5 月 12 日(火)

場所：旧南相馬市立真野小学校、旧相馬女子高校

②平成 27 年 6 月 23 日(火)

場所：浪江公民館請戸分館



相馬市での活動 (5/12)



浪江町での活動 (6/23)

(2) 公民館等への協力

「県立美術館コレクションにみる魅惑の名画鑑賞 ～モネ、ルノワールからワイエス、関根正二まで～」

日時：平成 27 年 12 月 5 日(土)、12 日(土)

講師：早川博明（当館館長）

会場：福島市吾妻学習センター 参加者：60 名

(3) 県立図書館との連携事業「スペシャルクリスマス in 図書館」

小学生とその保護者を対象にした、図書館での絵本の読み聞かせと工作ワークショップ。

日時：平成 27 年 12 月 19 日(土)

参加者：24 名（うち保護者 10 名）

第6節 工事関係

1 施設・設備の整備

老朽化した施設・設備の改修工事等を実施した。

(1) 美術館・図書館空調設備等改修工事（電気）

平成26年12月11日～平成28年1月26日（株）高電



仮設ケーブル設置：空調設備等改修工事（電気）

(2) 美術館・図書館空調設備等改修工事（機械）

平成26年12月11日～平成28年1月26日

文化・倉島特定建設工事共同企業体



蓄熱槽修繕：空調設備等改修工事（機械）



熱源機器設置：空調設備等改修工事（機械）



空調配管交換：空調設備等改修工事（機械）

(3) 美術館トイレ改修工事（エントランス）

平成27年10月28日～平成28年1月25日

オークラ工業（株）

(4) 美術館屋根修繕工事（1工区）

平成27年12月3日～平成28年3月15日

田村建材（株）福島営業所



防錆コート吹付：屋根修繕工事（1工区）

(5) 美術館屋根修繕工事（2工区）

平成27年12月28日～平成28年3月25日

田村建材（株）福島営業所



サーキュレーター取付：屋根修繕工事（2工区）

(6) 美術館企画展示室トイレ改修工事（機械設備）

平成28年2月23日～平成28年3月28日

（株）光和设备工業所

(7) 美術館企画展示室トイレ改修工事（電気設備）

平成28年2月23日～平成28年3月28日

（株）高電

◆関係法規

A 福島県立美術館条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、県民の美術に対する知識及び教養の向上を図るため、福島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館は、福島市森合字西養山1番地に置く。

(業務)

第3条 美術館において行う業務は、次のとおりとする。

- 一 美術館及び美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 前3号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 美術館の展示品(以下「展示品」という。)を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 二 物品を販売し、又は頒布しないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 三 展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 四 所定の場所以外において、喫煙および飲食を行わないこと。
- 五 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 六 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項。(平11条例92・一部改正)

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 一 前条の規定に違反した者。
- 二 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、または汚損するおそれのある者。
- 三 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者。(平11条例92・追加)

(職員)

第9条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(平11条例92・旧第8条繰上)

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

(平11条例92・旧第9条繰上)

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

別表(第4条関係)

(平9条例53・平15条例52・平25条例118・一部改正)

区 分	普通観覧料の額 (一人当たり)		特別観覧料の額	年間観覧料の額 (同一人が有効期間内に 利用する場合)
	個 人	団 体		
一般(大学生を含む。)	270円	210円	その都度知事が定める額	3,600円の範囲内で知事が定める額
高校生及びこれに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	2,160円の範囲内で知事が定める額
中学生、小学生及びこれらに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	1,440円の範囲内で知事が定める額

備考

- 1 「普通観覧料」とあるのは常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは特別の企画による展示品を観覧する場合(常設展の展示品を併せて観覧する場合を含む。)の観覧料をいい、「年間観覧料」とあるのは年間利用に係る普通観覧料及び特別観覧料をいう。
- 2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

附 則 (平成9年条例第53号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年条例第92号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成15年条例第52号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年条例第118号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

B 福島県立美術館運営協議会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、福島県立美術館(以下「美術館」という。)の適正な運営を図るため、福島県立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員会の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(平24条例42・一部改正)

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附則（平成24年条例第42号）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に改正前の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命されている福島県立美術館運営協議会の委員は、その残任期間中は、改正後の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命された福島県立美術館運営協議会の委員とみなす。

C 福島県立美術館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号）第5条、第6条ただし書及び別表の規定による知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

D 福島県立美術館条例施行規則

（休館日）

第1条 福島県立美術館（以下「美術館」という。）の定期的休館日は、次のとおりとする。

- 一 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（次号において「休日」という。）に当たるときを除く。
- 二 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。
- 三 1月1日から同月4日まで。
- 四 12月28日から同月31日まで。

2 美術館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

（昭63教委規則8・一部改正）

（開館時間）

第2条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

（観覧手続）

第3条 館長は、福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号。以下「条例」という。）第4条の規定により観覧料を納入した者（年間観覧料を納入した者（以下「年間観覧者」という。）を除く。）に対し、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

（平15教委規則2・一部改正）

（年間観覧者に係る入館手続）

第3条の2 館長は、年間観覧者に対し年間観覧券（第1号様式の2）を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券の交付の日から起算して1年とする。

2 年間観覧者は、入館する際に有効な年間観覧券を提示するものとする。

3 年間観覧券の利用は、同一人に限るものとする。

（平15教委規則2・追加、平19教委規則14・一部改正）

（観覧料の免除及びその手続）

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免除する額
一 大学生、（これに準ずる者として福島県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める者を含む。）及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生（これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。）の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
二 県又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の百分の五十に相当する額（引率者にあつては全額）
三 国民の祝日に関する法律第二条に定めるこどもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
四 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
五 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める金額

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあつては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあつては10日前までに観覧料免除申請書（第2号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（第3号様式）を交付するものとする。

（昭60教委規則3・平4教委規則15・平7教委規則14・平8教委規則15・平8教委規則19・平12教委規則15・平14教委規則13・平15教委規則2・一部改正）

（観覧料の返還）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

一 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき（観覧しようとする者が年間観覧者であるときを除く。） 全額

二 その他やむを得ない理由があると認めるとき。 教育長が別に定める額

2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（第4号様式）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（平15教委規則2・一部改正）

（美術品等の特別利用）

第6条 美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（平12教委規則15・旧第7条繰上）

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

（平12教委規則15・旧第8条繰上）

附則 この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

第1号様式（第3条関係）

観覧券 (観覧者の区分) (金額) 福島県立美術館	観覧券 (観覧者の区分) (金額) 福島県立美術館
--	--

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第1号様式の2（第3条の2関係）
（平15教委規則2・追加）

（表）

年間観覧券
福島県立美術館

（裏）

（交付番号）	（観覧者の区分）
（有効期間）	
御利用に際して	
1 福島県立美術館が主催する展覧会のみ有効です。	
2 下記に署名された御本人以外の方は使用できません。	
3 御購入後の紛失等による再発行はいたしません。	
（氏名）	
（学校名）（学年）	
福島県立美術館	

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第2号様式（第4条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第2号様式(第4条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

印

住所又は所在地
氏名又は名称及び
代表者の氏名
申請者
観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分から 分まで
観覧者の種別及び人数	一 般	人	その他()	人
	大 学 生		()	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
引率者の職、氏名	職	氏名		
連絡先及び電話番号	電話 ()			
観覧料	免除率	免除金額	免除の税務	
円	円	円	円	
年 月 日				
上記のとおり承認してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	

（注） 印の欄は、記入しないこと。

第3号様式（第4条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第3号様式(第4条関係)

第 号
年 月 日

福島県立美術館長

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分から 分まで
観覧者の種別及び人数	一 般	人	その他()	人
	大 学 生		()	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
注 意 事 項				
観覧料	免除率	免除金額		
円				

第4号様式（第5条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第4号様式(第5条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

印

住所又は所在地
氏名又は名称及び
代表者の氏名
申請者
観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

展覧会の名称				
観覧料の納入月日	年	月	日	
既納観覧料の区分及び金額	区 分	人 数	金 額	税 額
			円	
合 計				
返還を申請する理由				
連絡先及び電話番号	電話()			
観覧料返還率	返還金額	返還の税務		
円	円	円		
上記のとおり返還してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	
受付月日	・	・	決裁月日	・

（注） 印の欄は、記入しないこと。

附 則（昭和60年教委規則第3号）

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年教委規則第8号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成3年教委規則第13号）

1 この規則は、交付の日から施行する。

2 この規則の施行の際現に作成されている改正前の規則に定める様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成4年教委規則第15号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年教委規則第14号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第15号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第19号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年教委規則第15号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第13号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年教委規則第2号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成19年教委規則第14号）

この規則は、平成19年10月1日から施行する。

E 福島県立美術館組織規則

（この規則の目的）

第1条 この規則は、福島県立美術館（以下「美術館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（課）

第2条 美術館に次の課を置く。

総務課

学芸課

（事務分掌）

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 一 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
 - 二 公印の管理に関すること。
 - 三 人事に関すること。
 - 四 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
 - 五 予算の編成、経理及び執行に関すること。
 - 六 物品の調達及び処分に関すること。
 - 七 財産の管理に関すること。
 - 八 観覧料の徴収に関すること。
 - 九 福島県立美術館運営協議会に関すること。
 - 十 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。
- 2 学芸課においては、次の事務を行う。
- 一 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
 - 二 美術に関する調査及び研究に関すること。
 - 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
 - 四 美術に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。
 - 五 美術に関する相談、情報提供その他美術教育の普及に関すること。
 - 六 国立美術館、公立美術館その他の教育機関及び美術関係団体との連絡提携に関すること。
 - 七 前各号に掲げるもののほか、美術に関する専門的事項に関すること。

ること。

（館長）

第4条 美術館に館長を置く。

2 館長は、上司の命を受け、美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

（副館長）

第5条 美術館に副館長を置く。

2 副館長は、館長を補佐し、美術館の事務を整理する。

（課長）

第6条 美術館の課に課長を置く。

2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

3 前項に規定するもののほか、課長は、課の事務を点検する。

（平25教委規則11・一部改正）

（学芸員等）

第7条 美術館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。

3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。

4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。

5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。

6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

（主任主査その他の職）

第8条 美術館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主任主査	上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理し、並びに担当する事務を取りまとめ、及び整理する。
主査	上司の命を受け、担任の事務を処理する。
副主査	上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。
主事	上司の命を受け、事務をつかさどる。
専門員	上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。

（平14教委規則18・平25教委規則8・一部改正）

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第18号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成25年教委規則第8号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年教委規則第11号）

この規則は、公布の日から施行する。

F 福島県立美術館収集評価委員会設置要綱

（設置）

第1条 福島県立美術館に収蔵する美術品及び資料（以下「美術品等」という。）の収集及び評価について審議するため、福島県立美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織等）

第2条 委員会は5人以内の委員をもって構成し、委員は学識経験者のうちから福島県立美術館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は委員会を代表し会務を掌理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第4条 委員会は、必要のつど館長が招集する。

2 委員会は、美術品等の収集及び評価について審議し、その結果を館長に報告するものとする。

3 委員会は、必要に応じ職員その他の者を出席させて意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、福島県立美術館において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附則 この要綱は、昭和55年4月1日から施行する。

改正 昭和59年4月1日、昭和61年4月1日

G 福島県立美術館における美術品等の貸出し及び写真撮影等に関する取扱要綱

1 趣旨

(1) この要綱は、財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例(昭和39年福島県条例第22号)第7条、福島県財務規則(昭和39年福島県条例第17号。以下「財務規則」という。)第156条、福島県立美術館条例(昭和59年福島県条例第33号)第7条及び福島県立美術館条例施行規則(昭和59年福島県教育委員会規則第12号)第7条の規定により、福島県立美術館(以下「館」という。)が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料(以下「美術品等」という。)の貸出し及び写真撮影等(以下「撮影」という。)の取り扱いに関する基準及び手続きを定めるものとする。

(2) 美術品等が福島県美術品等取得基金(以下「基金」という。)所有のものであるときは、昭和59年12月28日付59教財第513号、福島県教育庁財務課長通知により、美術品等の貸出しの手続きは館長の依頼により基金管理者が行うものとするが、美術品等の貸出しの基準及び撮影については、この要綱を準用するものとする。

2 美術品の貸出し

(1) 貸出しの基準

ア 美術品等の貸出しは、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、その他館長が特に必要と認めたものに対して行うものとする。

イ 美術品等の貸出期間は、1年を超えてはならない。

ウ 美術品等の利用目的及び管理上の理由から貸出しをすることが適当でないと認めるときは、貸出しを行わないものとする。

(2) 貸出しの手続き

ア 学芸課は、美術品等の貸出しをする場合には、貸出しを受けようとする者(以下「借受者」という。)から物品借受申請書(財務規則第102号様式。以下「申請書」という。)を提出させるものとする。ただし、借受者の利用目的が展覧会の展示である場合には、次の書類を提出させなければならない。

(ア) 展覧会の趣旨及び企画内容を明記した書類

(イ) 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の貸出しを承認する旨の書類

(ウ) その他必要と認める書類

イ 学芸課は、借受者から申請書の提出を受けたときは、美術品等の利用目的、利用期間及び利用場所等について十分に検討を加え、貸出しの適否を審査するものとする。

ウ 学芸課は、この要綱2の(2)のイの審査の結果、美術品等の貸出しをすることが適当と認めるときは、物品貸付調書(財務規則第10号様式)により当該貸出しについて館長の決裁を受ける

とともに、総務課に關係書類を送付するものとする。

エ 総務課は、この要綱2の(2)のウの書類の送付を受けたときは、速やかに福島県教育庁生涯学習領域(以下「生涯学習領域」という。)に対し美術品等の貸出しについて必要な措置の請求(別紙様式第1号)をしなければならない。

オ この要綱2の(2)のアからエまでの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

(3) 貸出しの決定

ア 総務課は、生涯学習領域から美術品等の貸出しについて必要な措置が完了した旨の通知を受けたときは速やかに学芸課に対して、その旨連絡するとともに關係書類を送付するものとする。

イ 学芸課は、この要綱2の(3)のアの通知を受けたときは借受者に対して、貸出し承認の通知(別紙様式第2号)をするものとする。

ウ 美術品等が基金所有のものであるときは、当該美術品等の貸出しの決定及び借受者に対する貸出し承認の通知は、基金管理者が行うものとする。

エ 美術品等の貸出しは、無料とする。

(4) 貸出しの条件

美術品等の貸出しをする場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等は利用目的以外の用途に利用しないこと。

イ 美術品等の利用権を第3者に譲渡しないこと。

ウ 美術品等は常に善良な管理者の注意をもって管理保管すること。

エ 美術品等の棄損・亡失等が生じた場合は、速やかにその旨を館に報告し、その指示により損害を賠償し、又はこれを原状に回復すること。

オ 美術品等の輸送、その他貸出しに要する経費は、借受者が負担すること。

カ 図録作成等のため美術品等の写真撮影をする場合は、この要綱3により別途手続を行うこと。

キ 美術品等の搬出または搬入に対して借受者は責任者を立会させること。

ク その他必要と認めること。

(5) 美術品等の引渡し

ア 館長(物品管理者)は、美術品等の貸出しを実行するときは、当該美術品等の現状を確認し、総務課長(物品取扱員)に対し、貸付物品払出通知書(財務規則第102号様式)により、その引渡しを指示するものとする。

イ 総務課長(物品取扱員)は、館長(物品管理者)から貸出し美術品等の引渡しの指示を受けたときは、借受者に対して当該美術品等の受領を証する書面と引換えに、これを引渡すものとする。

ウ 総務課長(物品取扱員)は、美術品等を引渡ししたときには物品貸付台帳(財務規則第140号様式)に所定の事項を記載し整理するものとする。

エ 美術品等の引渡し場所は原則として館とする。

(6) 美術品等の貸付引受け

この要綱2の(5)のアからエまでの規定は、貸出しを行った美術品等が返納された場合の受入れの手続きについて準用する。この場合「美術品等の貸出しを実行」とあるのは「貸出しを行った美術品等を引受け」と、「貸付物品払出通知書」とあるのは「貸付物品受入通知書」と、「引渡し」とあるのは「引受け」とそれぞれ読み替えるものとする。

3 美術品等の撮影

(1) 撮影承認の基準

ア 美術品等の撮影は国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認めたものに対して承認するものとする。

イ 撮影により損傷を生ずるおそれがある美術品等は撮影を認めないものとする。

ウ 撮影の時期が美術品等の管理上、適当でないと認められる場合

は、その時期を変更し、若しくは撮影を認めないものとする。

(2) 撮影承認の手続

- ア 学芸課は、美術品等の撮影の承認をする場合には、撮影を希望する者（以下「撮影者」という。）から美術品等撮影承認願（別紙様式第3号。以下「承認願」という。）を提出させるものとする。
- イ 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の撮影を承認する旨の書類を承認願に添付させるものとする。
- ウ 学芸課は、撮影者から承認願の提出を受けたときは、撮影の目的、場所、時期、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。
- エ 学芸課は、この要領3の（2）のウの審査の結果、美術品等の撮影を承認することが適当と認めるときは、当該撮影の承認について館長の決裁を受けるものとする。
- オ 美術品等の撮影料は無料とする。

(3) 撮影承認の通知

学芸課は、この要領3の（2）のエにより撮影承認の決定をしたときは、撮影者に対して撮影承認の通知（別紙様式第4号）をするものとする。

(4) 撮影の条件

美術品等の撮影を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

- ア 美術品等の撮影は館の職員の指示に基づいて行うこと。
- イ 撮影により美術品等を損傷させないこと。
- ウ 撮影した写真等は、撮影承認を受けた目的以外に使用しないこと。
- エ 撮影の目的が著作権法の適用を受けることとなるときは、必要に応じ、あらかじめ著作権者の了承を得ること。
- オ 撮影承認を受けた美術品等の写真を出版物に掲載したときは、当該出版物を館に提出すること。
- カ その他必要と認めること。

(5) 補則

- ア 撮影の場所は、原則として館とする。
- イ 撮影が美術品等の管理上適当でないとき、館が所有する原版の使用を認めるものとする。
- ウ 過去に撮影した写真等の撮影承認の目的外使用については、この要領の適用を受けるものとする。
- エ 館所有の原版を複写して使用する場合は、当該複写版をすべて提出することとする。
- オ 館所有の原版を使用する際、誤って損傷、亡失させたときは、再撮影に係わる実費を当該申請者に請求することができるものとする。

4 適用

この要領は昭和60年2月9日から適用する。

（平成9年9福美第65号により一部改正）

H 福島県立美術館美術作品等寄託要領

（趣旨）

1 この要領は、福島県立美術館（以下「館」という。）における美術作品および美術資料（以下「美術品等」という。）の寄託に関し、必要な事項を定めるものとする。

（寄託の申し出）

2 福島県立美術館長（以下「館長」という。）は、美術品等の所有者に依頼して寄託を受けようとする場合には、寄託同意書（別記様式第1号）によって所有者の同意を得なければならない。

（2）館長の依頼によらないで美術品等の寄託をしようとする者は、寄託申請書（別記様式第2号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

（受託）

3 館長は、所有者の合意、もしくは所有者からの申込みのあった美術品等の寄託が館の事業のため必要があると認めるときは、これを無償で受託することができる。

（受け入れおよび返還）

4 館長は、所有者から寄託された美術品等を受領したときは、所有者に対して受託証書（別記様式第3号）を交付するものとする。

（2）所有者は寄託した美術品等（以下「寄託品」という。）の返還を受けようとするとき、返還を受けようとする日の一ヶ月以上前に返還申請書（別記様式第4号）を館長に提出しなければならない。

（3）館長は、この要領4の（2）により、所有者に対して寄託品の返還をしようとするときは、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

（4）寄託品の返還を受けようとする者が所有者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を館長に提出しなければならない。（寄託期限）

5 美術品等の寄託期間（以下「寄託期間」という。）は2年とする。ただし、特別な理由があるとき、館長はこの期間を短縮することができる。

（寄託期間の更新）

6 館長は所有者の承諾を得て寄託期間を更新することができる。

（2）寄託期間の経過後、所有者から寄託品の返還の請求がない場合は、寄託期間を更新したものとみなす。

（3）館長は、この要領6の（1）および（2）により寄託期間を更新したときは、所有者に対し更新した受託証書を交付するものとする。（所有者の変更等）

7 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称もしくは住所等に変更があったときは、所有者（所有者が変更した場合は変更後の所有者）は、所有権の移転その他氏名、名称等を証する書類を受託証書に添えて館長に提出し、受託証書の書き換えを受けなければならない。（受託証書の再交付）

8 所有者は、受託証書を亡失し、または著しく破損したときは、これらの事実を証するにたる書類（破損の場合は、その受託証書）を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。（寄託品輸送経費等の負担）

9 所有者は寄託品の搬入または返還に要する経費等を負担するものとする。ただし、館長が特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。（寄託品の展示等）

10 館は、寄託品について、展示、研究および撮影等を行い、その結果を公刊することができる。

（2）館職員以外の者がこの要領10の（1）の行為をしようとするときは、「福島県立美術館における美術品等の貸出しおよび写真撮影等に関する取扱要領」に定めるところにより、所定の手続きを経なければならない。（寄託品の保存）

11 館長は、寄託品の保存管理およびその取扱いについては、館に所蔵する美術品に準じて行う。

（2）館は、寄託品を亡失し、または損傷した場合は、その補償をするものとする。ただし、天災、その他不可抗力による場合は、この限りでない。（その他）

12 この要領に定めるもののほか、美術品等の寄託に関して必要な事項は、館長が定める。

この要領は、昭和60年4月1日より施行する。

◆予算

【2016年度予算内訳】

歳入

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
使用料及び手数料	39
└ 使用料	39
└ 行政財産使用料	33
└ 土地使用料	33
└ 建物使用料	0
└ 教育使用料	6
└ 美術館使用料	6
財産収入	129
└ 財産売払収入	129
└ 物品売払収入	129
諸収入	2,138
└ 雑入	2,138
計	2,306

歳出

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
教育費	553,500
└ 教育総務費	9,101
└ 事務局費	8,739
└ 報酬	5,760
└ 職員手当(児童手当等)	20
└ 共済費	1,197
└ 賃金	1,762
└ 財務管理費	362
└ 交際費	20
└ 役務費	238
└ 使用料及び賃借料	4
└ 負担金、補助及び交付金	100
└ 社会教育費	544,399
└ 文化財保護費	7
└ 使用料及び賃借料	7
└ 美術館費	544,392
└ 報酬	72
└ 報償費	548
└ 旅費	1,365
└ 需用費	59,490
└ (食糧費)	(33)
└ 役務費	10,951
└ 委託料	78,321
└ 使用料及び賃借料	1,225
└ 工事請負費	392,044
└ 備品購入費	250
└ 負担金、補助及び交付金	95
└ 公課費	0
労働費	6
└ 雇用対策費	6
└ 緊急対策費	6
└ 共済費	6
└ 賃金	0
計	553,506

◆施設・設備

【建築の概要】

設計 大高建築設計事務所

施工 鹿島建設株式会社仙台支店（建築・外観）

敷地面積 60,500㎡

建築面積 6,471.5㎡

延床面積 9,680.7㎡

建物構造 鉄筋コンクリート造（一部S造・2階建）

総工費 約49億円（本体、外構含む）

【設備の概要】

電気設備

1- 受変電設備：受電力 1,100W

2- 動力設備

3- 電灯・コンセント・照明（調光設備：各展示室、調光装置：講堂・講義室各1台）

4- 自家発電機設備

5- 避雷針

6- 電気時計

7- 火災報知設備

8- 防火扉・防煙設備

9- 拡声設備

10- インターホン設備

11- ITV 設備

12- 防犯設備

13- ビデオ設備

14- 蓄電池設備

15- 電話設備

空気調和設備

1- 熱源設備：

展示室・収蔵庫系統＝空気熱源スクルーヒートポンプ、120RT＋熱回収ヒートポンプ30RT組合せ制御方式、冷水槽300㎡、温水槽250㎡

一般系統・図書館系統＝灯油だき冷温水発生器150RT 2台

2- 空調設備：単一ダクト方式

展示室4系統、収蔵庫3系統、ケース内4系統、一般系統7系統（一部フロアコイル併用）

3- 換気設備：50系統

4- 排煙設備：機械排煙6系統

5- 床暖房：2系統

6- 自動制御設備：中央監視盤、温湿度監視盤

給排水衛生設備

1- 熱源：都市ガス（厨房・実習室・工作修復室）／他は全て電器煮沸器を使用

2- 消化系：ハロン消火設備（収蔵庫3系統：共用機械室）／消火栓設備（消火ポンプ1台、屋内消火栓14台、動力ポンプ1台）

3- 燻蒸設備：ガスによる殺虫滅菌剤で燻蒸後吸着装置通過、規定濃度以下にして大気放出

4- 給水：受水槽45t（加圧給水）／直結給水

5- 排水：屋内は汚水・雑排水の分流式（外部で合流後、市下水道公共マスに接続）

昇降機設備

1- 乗用エレベーター：油圧式、750kg 11名乗り 1台

2- 荷物用エレベーター：油圧式、最大積載量 3t 1台

3- 乗用エレベーター：油圧式、600kg 9名乗り 1台

【内部仕上げの概要】

1- エントランスホール

床：御影石バーナー仕上げ（一部長尺塩ビシート張）

壁：栓練付石綿ケイカル板

天井：栓練付石綿ケイカル板

その他：一部床暖房設備

2- 収蔵庫

床：パーケットブロック、ぶな素地

壁：米杉、矢羽根板張

天井：米杉、本実目透張

その他：収納棚、絵画収納ラック

3- 企画展示室

床：長尺塩ビシート張

壁：合板捨張の上に準不燃合板、特注クロス張

天井：栓練付パネル

その他：大型可動壁（幅 8,770mm × 高 3,770mm、11枚）

固定ケース前可動壁：（幅 1,600mm × 高 4,050mm、延長約 72m）

固定ケース：（A-2、A-3、B：総延長 72.3m）

4- 常設展示室

床：タフテッドループカーペット

壁：常設A- 栓練付ケイカル板

常設B- 大理石空積、水磨き仕上げ

常設C・D- くるみ練付ケイカル板

天井：常設A- 栓練付パネル

常設B・C・D- くるみ練付パネル

その他：固定ケース（常設A、16.2m）

5- 講堂

床：タイルループカーペット

壁：くるみ練付石綿ケイカル板

天井：ビニールクロス張

その他：座席数 246（うち車椅子席 4）／ステージ幅 12m × 奥行 3.2m

6- 講義室

床：タイルカーペット

壁：くるみ練付石綿ケイカル板

天井：岩綿吸音板

7- 実習室

床：エポキシ系塗床

壁：モルタル金ゴテ VP

天井：岩綿吸音板

8- 軽食喫茶室

床：長尺塩ビシート張

壁：くるみ練付パネル、粒状岩綿吸音材（一部）

その他：テーブル 44席

9- その他

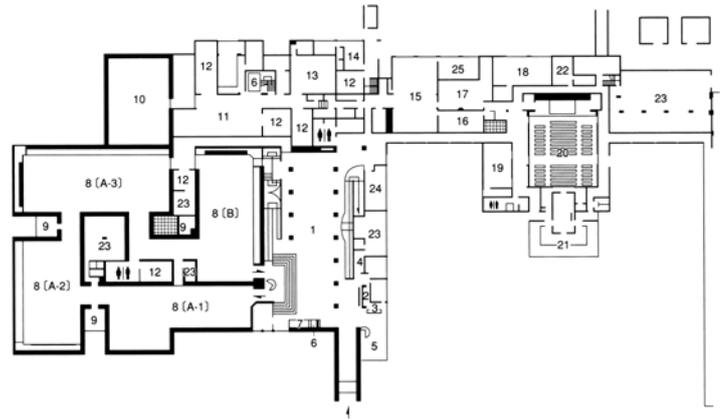
搬出入口：ホイストクレーン 2.8t / テーブルリフター

写真室：電動スクリーン

◆施設配置図

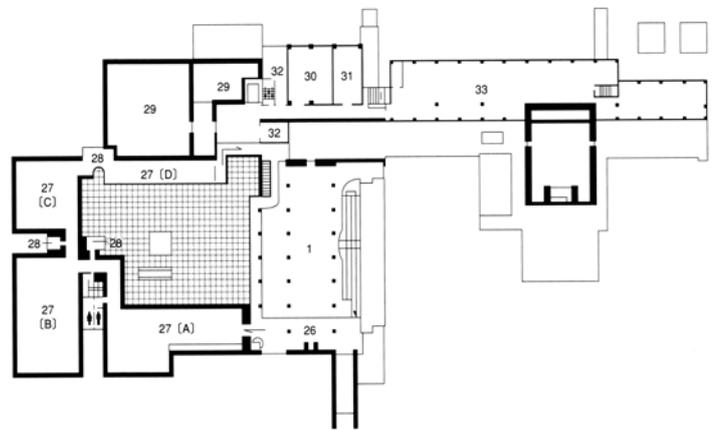
【1階】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. エントランスホール | 14. 警備室 |
| 2. 受付案内 | 15. 事務室 |
| 3. ブックショップ | 16. 応接室 |
| 4. ロッカー室 | 17. 研究図書室 |
| 5. 図書コーナー | 18. 実習室 |
| 6. エレベーター | 19. 講義室 |
| 7. ビデオコーナー | 20. 講堂 |
| 8. 企画展示室 | 21. 軽食喫茶室 |
| 9. 休憩室 | 22. 中央監視室 |
| 10. 収蔵庫 A | 23. 機械室 |
| 11. 荷解梱包室 | 24. 館長室 |
| 12. 倉庫 | 25. 副館長室 |
| 13. 写真室 | |



【2階】

- | |
|-------------|
| 26. ロビー |
| 27. 常設展示室 |
| 28. 休憩室 |
| 29. 収蔵庫 B・C |
| 30. 工作修復室 |
| 31. 会議室 |
| 32. 倉庫 |
| 33. 機械室 |



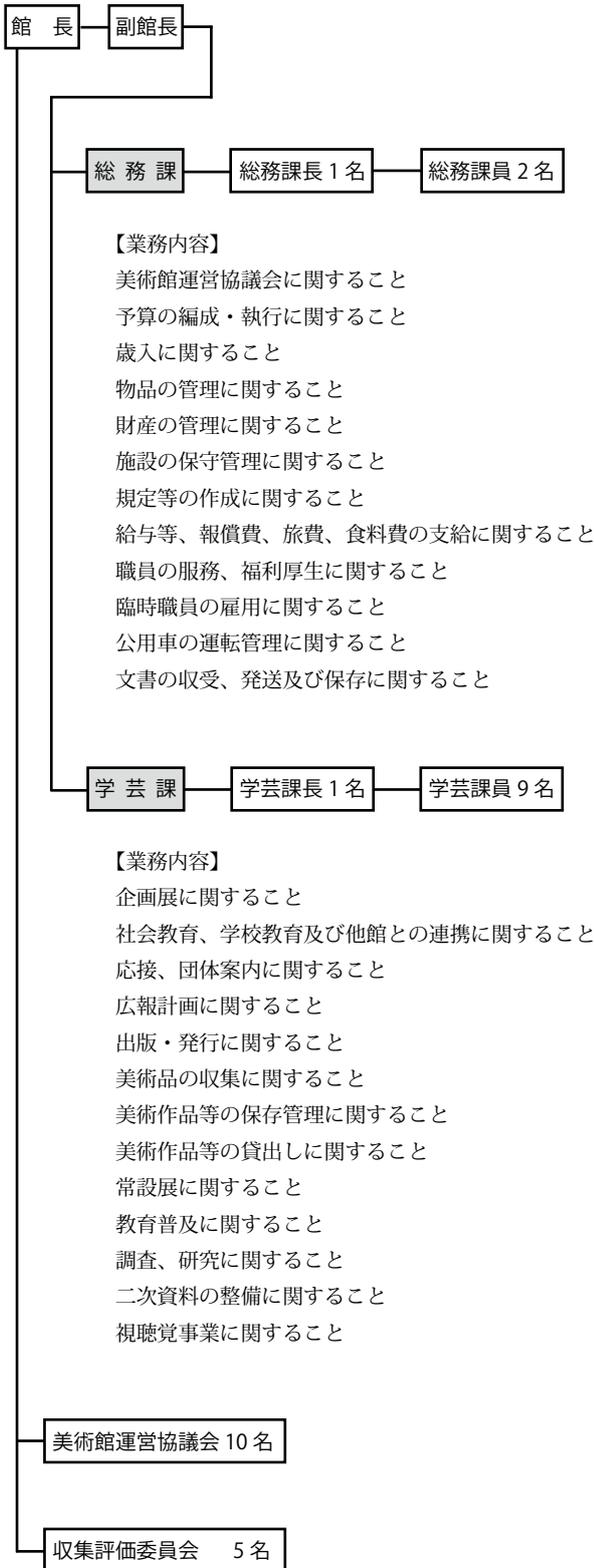
◆部門別専有面積 (*は県立図書館と共用)

サービス部門	1223.8m²
エントランスホール	817.3m ²
受付案内	(ホールに含む)
ブックショップ	(ホールに含む)
ロッカー室	(ホールに含む)
図書コーナー	(ホールに含む)
ロビー	202.1m ²
*軽食喫茶室	179.0m ²
授乳室・救護室	25.4m ²
展示部門	3064.4m²
企画展示室 A (A-1,2,3)	1380.8m ²
企画展示室 B	431.1m ²
	(企画展示室合計 1811.9m ²)
常設展示室 A	403.1m ²
常設展示室 B	359.1m ²
常設展示室 C	143.8m ²
常設展示室 D	132.8m ²
	(常設展示室合計 1038.8m ²)
展示用具室	141.2m ²
展示用具室 2	72.5m ²
収蔵部門	1365.3m²
収蔵庫 A	280.2m ²
収蔵庫 B	368.7m ²
収蔵庫 C	105.1m ²
一時保管庫	51.8m ²
収蔵庫前室	57.6m ²
搬出入口	65.7m ²
荷解梱包室	188.8m ²
梱包倉庫	77.7m ²

荷扱人控室	29.6m ²
燻蒸室	33.3m ²
工作修復室	106.8m ²
普及部門	654.6m²
*講堂	498.6m ²
講義室	73.9m ²
実習室 (準備室含む)	82.1m ²
研究部門	187.2m²
研究図書室	88.7m ²
写真室	98.5m ²
管理部門	1832.7m²
応接室	48.0m ²
副館長室	34.0m ²
事務室 (総務課・学芸課)	174.0m ²
会議室	73.3m ²
館長室	43.2m ²
事務機械室	16.0m ²
警備室	54.7m ²
更衣室	8.7m ²
受付控室	15.4m ²
給湯室	4.4m ²
倉庫	33.0m ²
*機械室	1266.4m ²
車庫	61.6m ²
その他(化粧室・廊下・階段等)	1330.8m²

◆組織図・職員名簿

1. 組織図



2. 職員名簿（2016年3月31日現在）

館長	早川 博明（2012.4.1-）
副館長	佐藤 泰彦（2015.4.1-）
総務課長	八巻 功寿（2013.4.1-2016.3.31）
総務課 主査	曳地香代子（2012.4.1-）
総務課 同	小形 淳子（2014.4.1-）
総務課 専門員	佐藤 俊一（2014.4.1-2016.3.31）
学芸課長	伊藤 匡（文化施設整備室 1983.4.1-）
学芸課 専門学芸員	荒木 康子（1990.4.1-）
学芸課 同	久慈 伸一 （文化施設整備室 1982.4.1-2016.3.31）
学芸課 同	堀 宜雄（1989.4.1-）
学芸課 主任学芸員	宮武 弘（1992.4.1-）
学芸課 同	増渕 鏡子（1993.4.1-）
学芸課 同	國島 敏（2012.4.1-）
学芸課 副主任学芸員	紺野 朋子（2012.4.1-）
学芸課 同	坂本 篤史（2014.4.1-）
学芸課 学芸員	白木ゆう美（2014.4.1-）

□利用案内

1. 開館時間

9時30分～17時（最終入館は16時30分まで）

※夜間開館を行うことがあります。

2. 休館日

1) 月曜日（祝祭日をのぞく）

2) 祝祭日の翌日（土日をのぞく）

3) 年末年始（12月28日～1月4日）

※都合により臨時休館を行うことがあります。

3. 観覧料

1) 常設展

一般・大学生：270円（210円）、高校生以下：無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

2) 企画展 その都度料金が変わります。

※企画展の料金で常設展もご覧になれます。

※企画展のみの観覧券は発行していません。

※ふくしま教育週間（11月1日～7日、ただし休館日は除く）

中は、小・中・高校生は企画展料金も無料。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展料金が無料

（それぞれ第1種または1級の方は付き添いの方も無料）

4. 常設展無料

1) 子供の日（5月5日）、県民の日（8月21日）、

敬老の日（9月第3月曜）、文化の日（11月3日）

2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（それぞれ第1種または1級の方は付き添いの方も無料）

3) 小・中・高校生（団体の場合、引率者も無料）

5. 常設展減額免除

常設展料金無料：大学生が、学校活動の一環で観覧するとき

常設展料金半額：公民館や公共団体が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき

※事前申請が必要です。いずれも引率者は無料となります。

6. 年間観覧券

常設展示・企画展示ともに、購入より一年間有効

（一般・大学生3,000円／高校生1,800円／小・中学生1,200円）

7. 交通案内

1) J R 福島駅（東口）より

電車：福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分

バス：9番バス乗り場より、福島交通もりん2コース「県立美術館入口」下車、徒歩4分

タクシー：約5分

2) 自家用車

東北自動車道・福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分 ※駐車場150台収容

福島県立美術館年報 平成27年度・2015

2016年12月22日 発行

編集・発行 福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

電話 024-531-5511

ファックス 024-531-0447

ホームページ <http://www.art-museum.fks.ed.jp>

印刷

〇〇印刷株式会社

